

IV 下水道事業



「マンホールトイレ（災害時仮設トイレ）設置体験会」

地震発生後の災害時には、広域避難場所等に多くの市民や救援隊、物資、仮設住宅等が集まり、トイレ不足が発生します。本市では、非常時に備え、竹ヶ端運動公園にマンホールトイレを20基整備しました。

また、マンホールトイレ設置体験会を通して、市民の皆様にもマンホールの設置から撤去までを体験していただくとともに、防災意識を高めることができました。



1 公共下水道事業

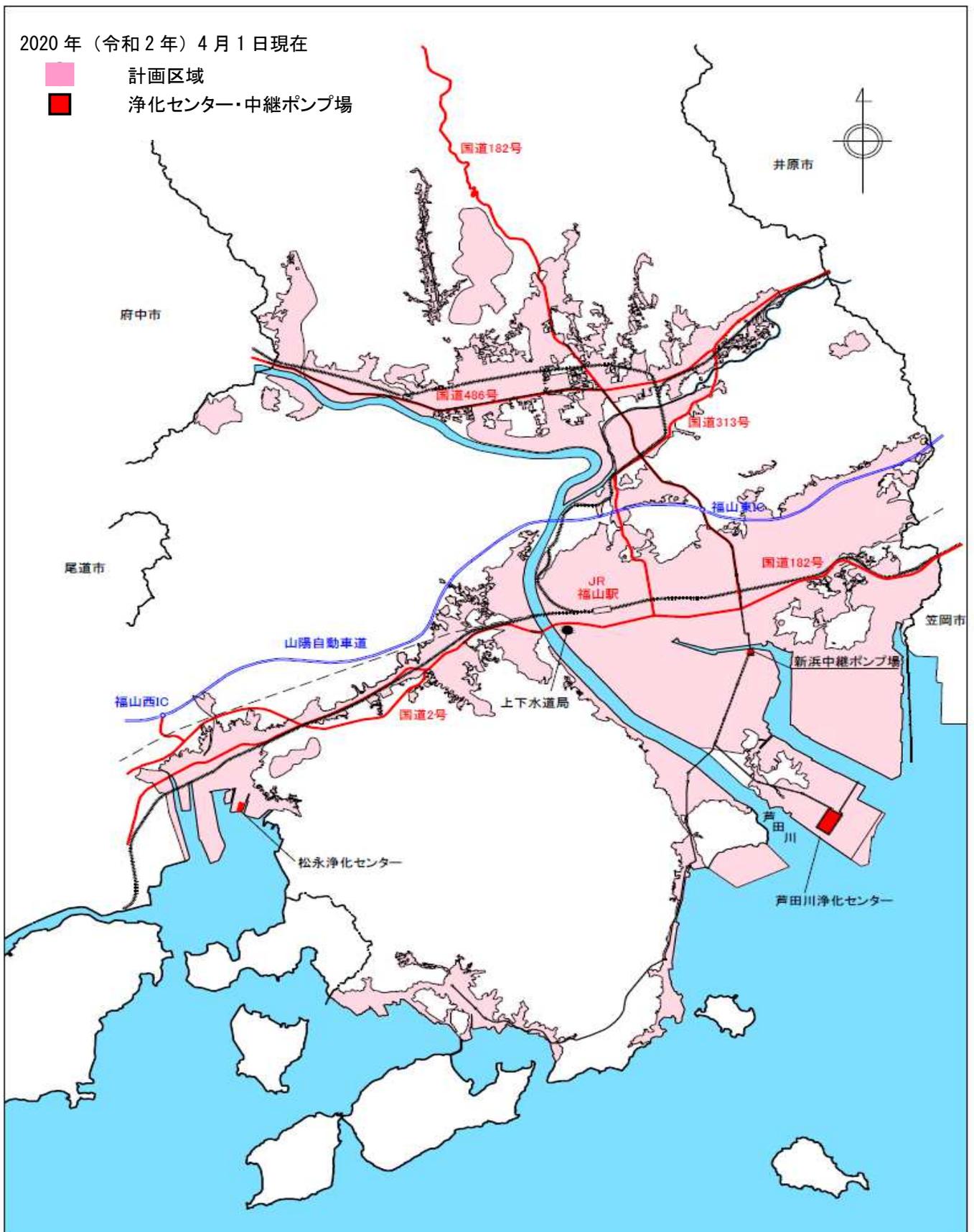
(1) 計画面積及び人口

区分	処理区名	処理分区名	全体計画		事業計画		整備済 (2019年度末)	
			面積(ha)	人口(人)	面積(ha)	人口(人)	面積(ha)	人口(人)
単独 公共	松永処理区		798.5	23,000	639.3	21,620	566.7	26,510
流域 関連 公共 下水道	芦田川 処理区	戸手第3	235.2	3,240	140.2	3,640	125.6	3,408
		戸手第2	75.7	1,810	75.7	2,030	58.4	2,115
		戸手第1	43.7	1,110	43.1	1,220	29.9	1,021
		新市	211.1	5,990	197.0	6,470	166.0	4,840
		近田	177.4	6,330	154.4	6,180	152.2	6,575
		万能倉	725.1	13,950	435.1	13,490	309.7	13,797
		加茂	386.3	8,770	261.7	8,210	221.2	8,619
		中津原	494.8	18,700	463.0	19,200	433.9	19,911
		蔵王第2	884.3	43,560	780.5	41,240	736.4	44,103
		蔵王第1	346.9	15,810	346.9	16,640	319.3	16,306
		手城	1,980.0	39,420	1,010.9	39,500	790.6	38,059
		新涯南	56.4	3,180	56.3	3,330	56.0	3,722
		新涯第1	1,130.8	49,750	994.6	48,730	799.9	47,177
		箕島第2	37.9	610	36.3	640	28.2	742
		箕島第1	523.4	570	370.6	500	319.6	519
		水呑第2	84.8	3,890	81.9	4,020	79.3	4,108
		水呑第1	266.8	10,960	253.9	11,190	189.5	9,834
		田尻	240.4	2,260	51.9	2,020	37.5	1,335
		鞆	93.9	4,600	65.8	3,460	39.1	528
		新浜	1,309.2	66,890	1,301.4	70,060	1,282.8	74,117
		旧新浜処理区			806.0	52,310	806.0	55,066
		旧新浜処理分区	1,309.2	66,890	495.4	17,750	476.8	19,051
		常石草深	189.8	3,300	167.2	2,570	73.5	1,395
		新涯	55.9	1,270	55.9	1,440	47.4	1,375
		横引	27.5	390	27.5	440	25.1	314
		桜	17.3	270	17.3	310	17.3	223
		白浜	22.0	280	22.0	320	22.0	280
		能登原	16.9	170	16.2	190	13.1	174
		川北	632.5	18,660	349.6	12,230	294.9	12,532
		川南第2	176.4	3,490	131.8	2,640	-	-
		川南第1	100.3	4,570	92.6	4,430	89.9	3,683
小計	10,542.7	333,800	8,001.3	326,340	6,758.5	320,812		
合	計		11,341.2	356,800	8,640.6	347,960	7,325.2	347,322

※ 全体計画・事業計画には、服部地区農業集落排水施設分(78.0ha, 1,500人(全体計画)・1,640人(事業計画))を含む。

※ 面積(ha)は小数第2位で計算し四捨五入。

(2) 全体計画区域図



(3) 事業計画等の経緯

ア 下水道法事業計画等(福山市単独公共)の経緯の概要

項 目	認可又は協議承認 年 月 日	告示番号又は 広島県文書番号	告 示 又 は 変 更 内 容		
			処理, 排水区域 変 更 等	処 理 施 設 変 更 等	ポ ン プ 施 設 変 更 等
単独当初	1951年11月13日	厚生省広衛 第209号	新浜処理区 処理区域152ha		
第1回変更	1964年3月6日	建設省広都 第53号	新浜処理区拡大(+159ha) 処理区域 計311ha	新浜処理場位置変更	
第2回変更	1971年6月30日	建設省広都 下公発 第4号ノ2	新浜処理区区域増(+495ha) 手城処理区追加(+2,777ha) 処理区域 計3,583ha		
第3回変更	1975年9月18日	建設省広都 下公発第7号		新浜処理場内容変更 凝沈追加	
第4回変更	1976年6月3日	建設省広都 下公発第3号	松永処理区追加 325ha 手城処理区削除 2,777ha 処理区域 計1,131ha		
第5回変更	1980年10月29日	建設省広都 下公発第9号		新浜処理場内容変更 加圧浮上・脱水機増設	
第6回変更	1986年8月29日	建設省広都 下公発第9号		松永浄化センター敷地面積変 更, 新浜処理場・脱臭設備追 加	
第7回変更	1988年3月18日	建設省広都 下公発第3号	松永処理区拡大(+46ha) 処理区域 計1,177ha	松永浄化センター配置変更	相生ポンプ場追加
第8回変更	1990年3月23日	建設省広都 下公発第2号	松永処理区(柳津排水区) 雨水幹線ルート変更		柳津ポンプ場位置変更
第9回変更	1996年3月5日	建設省広都 下公発第5号	新浜処理区合流式下水道 改善計画		
第10回変更	1996年11月25日	建設省広都 下公発第25号	松永処理区拡大(+94ha) 松永機織排水区変更 処理区域 計 1,271ha		
第11回変更	1999年2月26日	建設省広都 下公発第5号	松永処理区拡大(+40ha) 処理区域 計 1,311ha		本郷川中継ポンプ場追加
第12回変更	2002年2月19日	国都下事 第599号	松永処理区拡大(+75ha) 松永処理区全体計画見直し	松永浄化センター能力変更	
第13回変更	2004年11月22日	国都下事 第309号		松永浄化センター汚泥濃縮設 備追加	
第14回変更	2007年9月6日	国都下事 第215号	松永処理区拡大(+22.9ha) 本郷排水区の追加 今津排水区の拡大		松永ポンプ場能力変更
第15回変更	2009年3月27日	国都下事 第487号	新浜処理区合流式下水道緊急 改善計画	新浜処理場敷地面積変更	中央雨水滞水池の追加
第16回変更	2012年3月19日	国水下事 第77-2号	松永処理区拡大(+36.4ha)		
第17回変更	2012年10月19日	下 水 第 65 号		脱水ケーキの固形燃料化を広 島県に事務委託	
第18回変更	2014年3月31日	下 水 第153号	新浜処理区 中央2号幹線の一部配置 (ルート)の変更及び中央2 号・中央5号幹線の能力変更		
第19回変更	2015年11月6日	下 水 第158号	新浜処理区を流域関連公共下 水道へ編入したことにより単 独公共下水道から削除	松永浄化センターの敷地面積 の変更 新浜処理場の削除	新浜処理区のポンプ施設 を削除
第20回変更	2018年2月27日	下 水 第240号	機織排水区の幹線断面変更 (機織1号雨水幹線)	松永浄化センター脱水機の機 種変更	松永ポンプ場(雨水)能 力変更
第21回変更	2020年3月25日	都環第397号			松永ポンプ場(雨水)の 用地拡大(+807㎡)

※ 2012年度(平成24年度)より事業認可制から協議制に移行。

イ 下水道法事業計画等(福山市流域関連)の経緯の概要

項 目	認可又は協議承認 年 月 日	告示番号又は 広島県文書番号	告 示 又 は 変 更 内 容	
			処理, 排水区域 変 更 等	ポンプ 施 設 変 更 等
流開当初	1978年8月1日	広島県指令下 第50号	芦田川処理区認可 処理区域 1,470ha	
第1回変更	1984年5月2日	広島県指令下 第2号	芦田川処理区拡大 処理区域 1,596ha	
第2回変更	1985年4月22日	広島県指令下 第35号	芦田川処理区拡大 処理区域 1,919ha 管径変更	
第3回変更	1986年9月4日	広島県指令下 第26号	芦田川処理区拡大 手城排水区再編成 処理区域 2,060ha	
第4回変更	1988年4月22日	広島県指令下 第1号	芦田川処理区拡大 処理区域 2,263ha	神島中継ポンプ場位置変更
第5回変更	1989年5月26日	広島県指令下 第33号	芦田川処理区拡大 処理区域 3,080ha	神島中継ポンプ場位置変更
第6回変更	1990年3月13日	広島県指令下 第35号	山手幹線変更	
第7回変更	1992年2月12日	広島県指令下 第60号	芦田川処理区拡大 新涯第1, 水呑分区再編成, ポンプ場追加 処理区域 3,309.5ha	
第8回変更	1993年5月25日	広島県指令公 第19号	芦田川処理区拡大 万能倉処理分区 処理区域 3,325.5ha	
第9回変更	1996年3月21日	広島県指令公 第138号	芦田川処理区拡大 新涯第2処理分区を新涯処理分区に合併 処理区域 4,150.0ha	鞆新涯幹線及び三新田中継ポンプ場の削除, ポンプ場の追加
第10回変更	1997年3月21日	広島県指令公 第151号	山守排水区の森脇排水区との分割 処理区域 4,150.0ha	森脇ポンプ場の追加
第11回変更	1999年3月18日	広島県指令公 第158号	芦田川処理区拡大 水呑処理分区の分割 処理区域 4,380.0ha	大門中継ポンプ場位置変更
第12回変更	2002年3月28日	広島県指令公 第142号	芦田川処理区拡大 曙北, 曙南, 新涯北, 新涯南, 唐樋の5排水 区を新涯排水区に統合 処理区域 4,805.6ha	坪生中継ポンプ場及び新涯ポンプ場の追加
第13回変更	2004年11月2日	広島県指令 下水第55号	芦田川処理区拡大 新市町との合併 処理区域 5,452.2ha	水呑中継ポンプ場, 瀬戸中継ポンプ場, 明王台第1中継ポンプ場及び明王台第2中 継ポンプ場の追加
第14回変更	2007年11月7日	広島県指令 下水第68号	芦田川処理区拡大 沼隈町・神辺町との合併 処理区域 6,593.0ha	
第15回変更	2009年3月19日	広島県指令 都整第201号	新市排水区の幹線変更 宮内雨水調整池の追加	大津野ポンプ場ポンプ台数変更
第16回変更	2012年3月22日	広島県指令 都環第104号	芦田川処理区拡大 処理区域 7,981.5ha	
第17回変更	2014年3月31日	下 水 第154号	中央2号幹線の一部配置(ルート)の変更及 び中央2号・中央5号幹線の能力変更	
第18回変更	2018年2月27日	下 水 第242号	芦田川処理区拡大 処理区域 8,001.3ha	一ツ樋ポンプ場(雨水)ポンプ台数, 能 力変更
第19回変更	2020年3月25日	都環第396号	予定排水区域の拡大 予定排水区域 7,011.5ha	新涯ポンプ場(雨水)のポンプ台数変 更, 用地拡大(+853㎡)

※ 2012年度(平成24年度)より事業認可制から協議制に移行。

(4) 計画事業費及び実績

(単位:百万円)

	管 渠	ポンプ場	処理場	総事業費
事 業 計 画	232,571	32,215	12,939	277,725
実績(2019年度末)	220,308	29,025	12,202	261,535
旧新浜処理区	24,959	6,765	2,613	34,337
松永処理区	26,229	5,617	9,589	41,435
芦田川処理区	169,120	16,643	-	185,763

※ 2014年度(平成26年度)より、旧新浜処理区は芦田川処理区へ編入したため、以降の旧新浜処理区の実績は、芦田川処理区に含まれる。

2 施設の概要

(1) 管渠延長

(単位:m)

汚水管			雨水管	合計
合流管	分流管	計		
161,860	1,668,614	1,830,474	44,021	1,874,495

※ 2019年度(令和元年度)末の数値であり、未供用分を除く。

(2) 処理場施設

松永浄化センター	
所 在 地	福山市柳津町一丁目10番1号
敷 地 面 積	31,025 m ²
処 理 方 法	標準活性汚泥法
排 除 方 式	分流式
運 転 開 始	1992年4月
事 業 期 間	1976年度～2021年度
事 業 費	10,325 百万円

	計 画	実 績 (2019年度末)
処 理 人 口	22,600 人 (23,000人)	26,510 人
処 理 面 積	766 ha (798.5ha)	566.7 ha
処 理 能 力	11,000 m ³ /日 (11,200m ³ /日)	7,400 m ³ /日
流 入 水 質	BOD 190 mg/ℓ	BOD 220 mg/ℓ
	SS 160 mg/ℓ	SS 199 mg/ℓ
放 流 水 質	SS 16 mg/ℓ	SS 3 mg/ℓ
	COD 30 mg/ℓ [最大値]	COD 15.1 mg/ℓ [最大値]
	COD 20 mg/ℓ [平均値]	COD 14 mg/ℓ [平均値]
	T-N 25 mg/ℓ	T-N 26 mg/ℓ
	T-P 3 mg/ℓ	T-P 0.8 mg/ℓ

※ 流入水質及び放流水質は、2019年度(令和元年度)の数値である。

※ () 内は、全体計画の数値で尾道市流入分を含む。

(3) ポンプ場施設

ア ポンプ場の全体計画、事業計画及び整備状況

区分	処理区	ポンプ場名	排除方式	全体計画			事業計画(2021年度)				現況(2019年度末)						
				ポンプ口径(mm) 能力(m ³ /分)	台数	内予備	揚水能力(m ³ /分)	ポンプ口径(mm) 能力(m ³ /分)	台数	内予備	揚水能力(m ³ /分)	ポンプ口径(mm) 能力(m ³ /分)	台数	内予備	揚水能力(m ³ /分)		
汚水中継ポンプ場	芦田川	神島中継ポンプ場	分流	φ250 5.6	3	1	11.2	φ250 5.6	3	1	11.2	φ250 2.5	2	1	14.4		
				φ250 9.4	2			φ250 9.4	2								
		大門中継ポンプ場	分流	φ200 5.5	1	1	9.6	φ200 5.5	1	1	9.6	φ200 5.5	1	1	5.5		
				φ200 4.1	2				φ200 4.1			2				φ300 10.5	1
		坪生中継ポンプ場	分流	φ150 2.0	3	1	4.0	φ150 2.0	3	1	4.0	φ150 2.8	2	1	2.8		
		相方汚水中継ポンプ場	分流	φ100 1.0	1	1	2.3	φ100 1.0	1	1	2.3	φ100 1.0	—	—	—		
				φ150 1.3	2				φ150 1.3			2				φ150 1.3	—
		瀬戸中継ポンプ場	分流	φ200 2.8	2	1	2.8	φ200 2.8	2	1	2.8	φ200 2.8	—	—	—		
		明王台第1中継ポンプ場	分流	φ80 0.4	2	1	0.4	φ80 0.4	2	1	0.4	φ65 0.4	3	1	0.8		
		明王台第2中継ポンプ場	分流	φ80 0.7	2	1	0.7	φ80 0.7	2	1	0.7	φ80 0.8	3	1	1.6		
木之庄中継ポンプ場	分流	φ150 2.4	2	1	9.6	φ150 2.4	2	1	9.6	φ150 2.4	2	1	9.6				
		φ200 4.8	1				φ200 4.8			1				φ200 4.8	1	1	
松永		本郷川中継ポンプ場	分流	φ100 1.1	3	1	2.2	φ100 1.1	3	1	2.2	φ100 1.1	2	1	1.1		
雨水ポンプ場	芦田川	手城ポンプ場	分流	φ2,000 546.0	2		1,092.0	φ2,000 546.0	2		1,092.0	φ2,000 546.0	2		1,092.0		
				φ3,000 185.0	5				φ3,000 185.0			5				φ3,000 185.0	4
		一ツ樋ポンプ場 (※は将来廃止)	分流	φ1,200 255.0	2	1	941.0	φ1,200 255.0	2	1	941.0	φ1,200 197.0	2	—	744.0		
				φ1,500 395.0	1				φ1,500 395.0			1				φ1,500 395.0	—
				φ500 36.0	1				φ500 36.0			1				φ500 36.0	—
		箕島ポンプ場	分流	φ1,100 165.0	2	1	466.2	φ1,100 165.0	2	1	466.2	φ1,100 165.0	—	1	136.2		
				φ1,000 126.0	1				φ1,000 126.0			1				φ1,000 126.0	1
水呑ポンプ場	分流	φ300 10.2	1	3	1,581.0	φ300 10.2	1	3	1,581.0	φ300 10.2	1	3	1,581.0				
		φ1,800 438.0	3				φ1,800 438.0			3				φ1,800 438.0	3		
		φ1,350 242.0	1				φ1,350 242.0			1				φ1,350 242.0	1		
				φ450 25.0	1			φ450 25.0	1			φ450 25.0	1				
				φ450 25.0	1				φ450 25.0			1			φ450 25.0	1	

区分	処理区	ポンプ場名	排除方式	全体計画			事業計画(2021年度)				現況(2019年度末)					
				ポンプ口径(mm) 能力(m³/分)	台数	内予備	揚水能力(m³/分)	ポンプ口径(mm) 能力(m³/分)	台数	内予備	揚水能力(m³/分)	ポンプ口径(mm) 能力(m³/分)	台数	内予備	揚水能力(m³/分)	
雨水ポンプ場	芦田川	大津野ポンプ場 (※は稼働しておらず将来廃止)	分流	φ1,650 461.0 φ1,650 325.0	2 2		1,572.0	φ1,650 461.0 φ1,650 325.0	2 2		1,572.0	φ1,650 461.0 φ1,650 325.0 ※ φ1,000 - ※ φ600 -	1 2 2 1		1,111.0	
		中津原ポンプ場	分流	φ900 114.0	2		228.0	φ900 114.0	2		228.0	φ900 114.0	1		114.0	
		千田ポンプ場	分流	φ1,650 361.0	2		722.0	φ1,650 361.0	2		722.0	φ1,650 361.0	2		722.0	
		森脇ポンプ場	分流	φ1,200 200.0	3		600.0	φ1,200 200.0	3		600.0	φ1,200 200.0	-		-	
		新漕ポンプ場	分流	φ2,000 678.0 φ1,800 456.0	2 1		1,812.0	φ2,000 678.0 φ1,800 456.0	2 1		1,812.0	φ2,000 678.0 φ1,800 456.0	2 1		1,812.0	
		新市ポンプ場	分流	φ1,200 192.0 φ700 54.0	3 1		630.0	φ1,200 192.0 φ700 54.0	1 1		246.0	φ1,200 192.0 φ700 54.0	1 1		246.0	
		戸手ポンプ場	分流	φ1,200 204.0 φ900 96.0	4 1		912.0	φ1,200 204.0 φ900 96.0	2 1		504.0	φ1,200 204.0 φ900 96.0	2 -		408.0	
		千年ポンプ場	分流	φ2,800 160.0	4		640.0	φ2,800 160.0	2		320.0	φ2,800 160.0	2		320.0	
		大山ポンプ場	分流	φ1,650 360.0	2		720.0	φ1,650 360.0	2		720.0	φ1,600 360.0	2		720.0	
		中央ポンプ場	分流	φ1,500 275.0 φ2,000 600.0	1 3		2,075.0	φ1,500 275.0 φ2,000 600.0	1 3		2,075.0	φ1,500 275.0 φ2,000 600.0	1 1		875.0	
		新浜ポンプ場 (※1 新浜浄化センター閉鎖に伴い 汚水ポンプは稼働停止) (※2 新浜ポンプ場更新時に撤去)	汚水				-	※1 φ400 - ※1 φ400 -	5 3		-	※1 φ400 - ※1 φ400 -	5 3		-	
			雨水	φ600 62.0 φ1,200 215.0	2 2		554.0	※2 φ900 - ※2 φ1000 - φ600 62.0 φ1200 215.0	1 4 2 2		554.0	※2 φ900 93.0 ※2 φ1000 115.0	1 4		553.0	
		松永	柳津ポンプ場	分流	φ1,100 176.0	2		352.0	φ1,100 176.0	2		352.0	φ1,100 176.0	2		352.0
			松永ポンプ場 (※は更新時増強)	分流	φ1,000 185.0 φ1,200 255.0 φ800 80.0	2 3 1		1,215.0	φ1,000 185.0 φ1,200 255.0 φ800 80.0	2 3 1		1,215.0	φ1,000 185.0 ※ φ1,200 200.0 φ800 80.0	- 3 1		680.0
機織ポンプ場	分流		φ1,350 204.0 φ900 96.0 φ500 24.0	2 1 1		528.0	φ1,350 204.0 φ900 96.0 φ500 24.0	2 1 1		528.0	φ1,350 204.0 φ900 96.0 φ500 24.0	2 - 1		432.0		
相生ポンプ場	分流		φ1,300 27.0	2		54.0	φ1,300 27.0	2		54.0	φ1,300 27.0	2		54.0		

イ 汚水中継ポンプ場

		(合流) 流域関連	(分流) 単独公共	(分流) 流域関連			
名 称		新浜ポンプ場	本郷川中継ポンプ場	神島中継ポンプ場	大門中継ポンプ場	坪生中継ポンプ場	
所 在 地		松浜町三丁目	南今津町	山手町五丁目	大門町五丁目	坪生町四丁目	
運 転 開 始 年 月		1959年6月	2003年4月	1990年8月	2001年4月	2006年4月	
事 業 計 画 ※1 敷地面積 (a)		16.5	4.2	4.6	8.8	3.0	
計 画 流 入 汚 水 量	時間最大 (m ³ /日)	258,336	2,678	15,958	5,834	5,749	
	計画処理面積 (ha)	806 (104ha : 合流雨水)	117.4	631.3	363.8	180	
現 況 ポ ン プ	汚 水	口径 (mm)	※2 φ 400 ※2 φ 400	φ 100	φ 250 φ 250	φ 200 φ 300	φ 150
		能 力	- -	1.1 m ³ /分	2.5 m ³ /分 9.4 m ³ /分	5.5 m ³ /分 10.5 m ³ /分	2.8 m ³ /分
	ポ ン プ	KW	- -	11 KW	22 KW 37 KW	55 KW 75 KW	30 KW
		2019年度末台数	5 3	2	2 2	1 1	2
能 力	雨	口径 (mm)	φ 900 φ 1,000	/	/	/	/
		能力	93.0 m ³ /分 115.0 m ³ /分				
	PS						
	2019年度末台数	1 4					
脱 臭 方 式		土壌法	土壌法	土壌法	土壌法	土壌法	

※1 敷地面積 (a)は、都市計画決定の敷地面積

※2 新浜浄化センター閉鎖に伴い汚水ポンプは稼働停止

		(分 流) 流域関連				
名 称		相方污水中継ポンプ場	瀬戸中継ポンプ場	明王台第1中継ポンプ場	明王台第2中継ポンプ場	木之庄中継ポンプ場
所 在 地		新市町大字相方	瀬戸町字目貫堂	明王台二丁目	明王台四丁目	西町三丁目
運 転 開 始 年 月		-	-	1986年12月	1986年12月	1973年4月
事 業 計 画 ※1 敷地面積 (a)		5.2	8.3	1.7	2.4	2.5
計 画 流 入 汚 水 量	時間最大 (m ³ /日)	1,756	3,958	542	881	13,824
	計画処理面積 (ha)	48.4	197.8	14.4	23.4	70
現 況 ポ ン プ	汚 水					
	口径 (mm)	-	-	φ 65	φ 80	φ 150 φ 200 φ 200
	能 力	-	-	0.4 m ³ /分	0.8 m ³ /分	2.4 m ³ /分 4.8 m ³ /分 5.0 m ³ /分
	KW	-	-	7.5 KW	18.5 KW	7.5 KW 11 KW 11 KW
能 力	2019年度末台数	0	0	3	3	2 1 1
	雨 水					
	口径 (mm)					
	能力					
水	PS					
	2019年度末台数					
脱 臭 方 式		-	-	-	-	-

※1 敷地面積 (a)は、都市計画決定の敷地面積

ウ 雨水ポンプ場

名 称	中央ポンプ場	大山ポンプ場	手城ポンプ場	松浜ポンプ場	一ツ樋ポンプ場	
所在地	東川口町一丁目	入船町三丁目	東手城町二丁目	松浜町三丁目	東川口町一丁目	
供用開始年月	2011年4月	1973年4月	1988年11月	1983年4月	1968年4月	
事業計画 ※1 敷地面積 (a)	80.0	30.0	14.4	13.7	28.3	
集水面積 (ha)	474	482	231	167	230	
現況排水量 (m^3 /分) ()は全体計画	875.0 (2075.0)	720.0 (720.0)	1092.0 (1092.0)	740.0 (925.0)	744.0 (941.0)	
現 況 ポ ン プ 能 力	口 径 (mm)	ϕ 1,500 ϕ 2,000	ϕ 1,600	ϕ 2,000	ϕ 3,000 ※2 ϕ 1,100 ※2 ϕ 500	
	揚水能力 (m^3 /分)	275.0 600.0	360.0	546.0	185.0 ※2 197.0 ※2 160.0 ※2 30.0	
	型 式	立軸斜流ポンプ	立軸軸流ポンプ	立軸斜流ポンプ	スクリーパーポンプ	立軸斜流ポンプ 横軸軸流ポンプ
	動 力	ガスタービン駆動	ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動 モーター駆動
	2019年度末 台数	1 1	2	2	4	2 2 1
放流先	福山港	福山港	福山港	福山港	福山港	

※1 敷地面積 (a)は、都市計画決定の敷地面積

※2 将来廃止

名 称	箕島ポンプ場	水呑ポンプ場	大津野ポンプ場	中津原ポンプ場	千田ポンプ場	
所在地	箕島町字飛地	水呑町字南新田	大門町五丁目	御幸町大字中津原	御幸町字坂田渡	
供用開始年月	1967年4月	1975年4月	1985年11月	2008年9月	1990年3月	
事業計画 ※1 敷地面積 (a)	13.9	46.7	188.5	7.1	16.8	
集水面積 (ha)	81	506	525	36	520	
現況排水量 (m^3 /分) ()は全体計画	136.2 (466.2)	1581.0 (1581.0)	1111.0 (1572.0)	114.0 (228.0)	722.0 (722.0)	
現況ポンプ能力	口径 (mm)	ϕ 1,000 ϕ 300	ϕ 1,800 ϕ 1,350 ϕ 450	ϕ 1,650 ϕ 1,650 ※2 ϕ 1,000 ※2 ϕ 600	ϕ 900	ϕ 1,650
	揚水能力 (m^3 /分)	126.0 10.2	438.0 242.0 25.0	461.0 325.0 - -	114.0	361.0
	型式	立軸軸流ポンプ 水中ポンプ	立軸斜流ポンプ	立軸斜流ポンプ	立軸斜流ポンプ	立軸斜流ポンプ
	動力	モーター駆動	ディーゼルエンジン駆動 モーター駆動	ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動
	2019年度末 台数	1 1	3 1 1	1 2 2 1	1	2
放流先	福山港	水呑川	福山港	高屋川	高屋川	

※1 敷地面積 (a)は、都市計画決定の敷地面積

※2 稼働しておらず将来廃止

名 称	森脇ポンプ場	新涯ポンプ場	新市ポンプ場	戸手ポンプ場	千年ポンプ場	
所在地	御幸町大字森脇	新涯町四丁目	新市町大字新市	新市町大字戸手	沼隈町草深	
供用開始年月	—	1985年4月	1993年5月	1987年4月	1977年4月	
事業計画 ※1 敷地面積 (a)	17.0	13.0	35.8	41.8	22.4	
集水面積 (ha)	138	479	105	198	135	
現況排水量 (m^3 /分) ()は全体計画	0.0 (600.0)	1812.0 (1812.0)	246.0 (630.0)	408.0 (912.0)	320.0 (640.0)	
現 況 ポ ン プ 能 力	口 径 (mm)	—	ϕ 2,000 ϕ 1,800	ϕ 1,200 ϕ 700	ϕ 1,200	ϕ 2,800
	揚水能力 (m^3 /分)	—	678.0 456.0	192.0 54.0	204.0	160.0
	型 式	—	立軸斜流ポンプ	立軸斜流ポンプ	立軸斜流ポンプ	スクリーンポンプ
	動 力	—	ガスタービン駆動 ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動
	2019年度末 台数	0	2 1	1 1	2	2
放流先	芦田川	福山港	芦田川	芦田川	千年港	

※1 敷地面積 (a)は、都市計画決定の敷地面積

名 称	柳津ポンプ場	松永ポンプ場	機織ポンプ場	相生ポンプ場	
所在地	柳津町三丁目	松永町五丁目	南松永町三丁目	柳津町一丁目	
供用開始年月	1994年3月	1977年10月	2002年4月	1989年6月	
事業計画 ※1 敷地面積 (a)	13.4	14.9	19.3	1.8	
集水面積 (ha)	68	238	108	8	
現況排水量 ($\text{m}^3/\text{分}$) ()は全体計画	352.0 (352.0)	680.0 (1215.0)	432.0 (528.0)	54.0 (54.0)	
現 況 ポ ン プ 能 力	口 径 (mm)	$\phi 1,100$	※2 $\phi 1,200$ $\phi 800$	$\phi 1,350$ $\phi 500$	$\phi 1,300$
	揚水能力 ($\text{m}^3/\text{分}$)	176.0	200.0 80.0	204.0 24.0	27.0
	型 式	立軸斜流ポンプ	立軸斜流ポンプ	立軸斜流ポンプ	スクリーポンプ
	動 力	ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動 モーター駆動	ガスタービン駆動 モーター駆動	モーター駆動
	2019年度末 台数	2	3 1	2 1	2
放流先	松永湾	松永湾	松永湾	松永湾	

※1 敷地面積 (a)は、都市計画決定の敷地面積

※2 更新時増強

(4) 汚水関連施設一覧

2020年(令和2年)4月1日現在

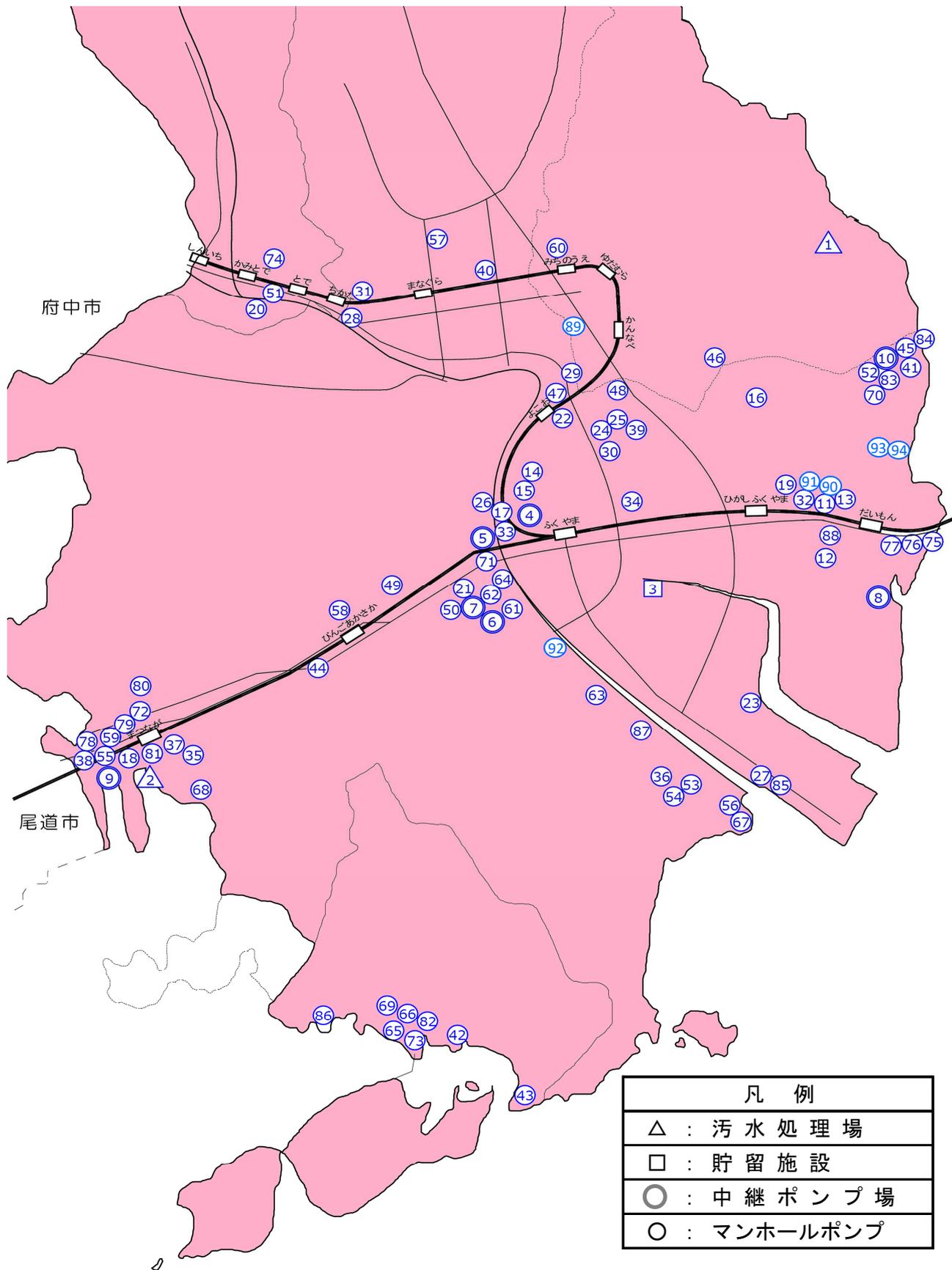
	施設名	所在地	供用開始年月
(汚水処理場)			
1	神辺工業団地汚水処理施設	神辺町旭丘20番地	1991年4月
2	松永浄化センター	柳津町一丁目10番1号	1992年4月
(貯留施設)			
3	中央雨水滞水池	東川口町一丁目1番1号	2014年4月
(中継ポンプ場)			
4	木之庄中継ポンプ場	西町三丁目27番3号	1971年8月
5	神島中継ポンプ場	山手町五丁目35番8号	1990年9月
6	明王台第1中継ポンプ場	明王台二丁目17番3号	1996年4月
7	明王台第2中継ポンプ場	明王台四丁目12番17号	1996年4月
8	大門中継ポンプ場	大門町五丁目5番50号	2001年4月
9	本郷川中継ポンプ場	南今津町162番地	2003年4月
10	坪生中継ポンプ場	坪生町四丁目3番45号	2006年4月
(マンホールポンプ)			
11	伊勢丘第1ポンプ場	伊勢丘四丁目8番	1966年度
12	明見ポンプ場	引野町南一丁目11番1号	1974年度
13	鳳第3ポンプ場	伊勢丘八丁目5番	1976年度
14	城北第1ポンプ場	久松台二丁目34番	1978年6月
15	城北第2ポンプ場	久松台二丁目地内	1978年6月
16	宇山ポンプ場	春日町宇山127	1990年5月
17	北本庄マンホールポンプ	北本庄五丁目地内	1995年4月
18	今津島マンホールポンプ	松永町三丁目地内	1995年7月
19	引野北マンホールポンプ	引野町北三丁目地内	1995年12月
20	相方マンホールポンプ	新市町大字相方258-2	1996年4月
21	明王台補助ポンプ場	明王台四丁目13番	1996年4月
22	横尾駅前マンホールポンプ	横尾町一丁目地内	1998年7月
23	福山港南マンホールポンプ	新涯町二丁目地内	1998年7月
24	千田北第1マンホールポンプ	千田町三丁目地内	1999年9月
25	千田北第2マンホールポンプ	千田町三丁目地内	1999年9月
26	山手マンホールポンプ	山手町七丁目地内	1999年9月
27	箕島第1マンホールポンプ	箕島町地内	2000年12月
28	駅家近田マンホールポンプ	駅家町地内	2001年4月
29	御幸マンホールポンプ	御幸町地内	2001年4月
30	千田南第1マンホールポンプ	千田町二丁目地内	2001年4月
31	駅家中島マンホールポンプ	駅家町地内	2002年4月
32	引野北五丁目マンホールポンプ	引野町北五丁目地内	2002年4月
33	北本庄第2マンホールポンプ	北本庄三丁目地内	2003年8月
34	西深津マンホールポンプ	西深津町五丁目地内	2004年3月

	施 設 名	所 在 地	供用開始年月
(マンホールポンプ)			
35	神村第1マンホールポンプ	神村町地内	2004年4月
36	水呑向丘第1マンホールポンプ	水呑向丘地内	2004年12月
37	松永町四丁目マンホールポンプ	松永町四丁目地内	2005年4月
38	高西町二丁目マンホールポンプ	高西町二丁目地内	2005年4月
39	千田南第2マンホールポンプ	千田町二丁目地内	2006年2月
40	駅家万能倉マンホールポンプ	駅家町地内	2006年4月
41	坪生第1マンホールポンプ	坪生町四丁目地内	2006年4月
42	沼隈草深第1マンホールポンプ	沼隈町地内	2006年4月
43	沼隈明神マンホールポンプ	沼隈町地内	2006年4月
44	神村第2マンホールポンプ	神村町地内	2006年4月
45	坪生第3マンホールポンプ	坪生町五丁目地内	2007年4月
46	神辺第1マンホールポンプ	神辺町地内	2008年4月
47	御幸第1マンホールポンプ	御幸町地内	2008年4月
48	千田北第3マンホールポンプ	千田町四丁目地内	2008年4月
49	津之郷第1マンホールポンプ	津之郷町地内	2008年4月
50	瀬戸第1マンホールポンプ	瀬戸町大字長和252番地の2	2008年4月
51	戸手第1マンホールポンプ	新市町地内	2008年5月
52	坪生第4マンホールポンプ	坪生町一丁目地内	2009年4月
53	水呑第1マンホールポンプ	水呑町地内	2009年4月
54	水呑第2マンホールポンプ	水呑町地内	2009年8月
55	今津第1マンホールポンプ	今津町地内	2010年6月
56	竹ヶ端第1マンホールポンプ	水呑町地内	2010年7月
57	加茂第1マンホールポンプ	加茂町地内	2011年4月
58	赤坂第1マンホールポンプ	赤坂町地内	2011年4月
59	今津第2マンホールポンプ	今津町地内	2011年4月
60	神辺第2マンホールポンプ	神辺町地内	2012年3月
61	明王台第1マンホールポンプ	明王台三丁目地内	2012年3月
62	明王台第2マンホールポンプ	明王台一丁目地内	2012年3月
63	水呑第3マンホールポンプ	水呑町地内	2012年3月
64	明王台第3マンホールポンプ	明王台一丁目地内	2013年3月
65	沼隈常石第3マンホールポンプ	沼隈町地内	2013年3月
66	沼隈常石第5マンホールポンプ	沼隈町地内	2013年3月
67	竹ヶ端第2マンホールポンプ	水呑町地内	2013年4月
68	柳津マンホールポンプ	柳津町地内	2013年4月
69	沼隈常石第4マンホールポンプ	沼隈町地内	2013年5月
70	坪生第5マンホールポンプ	坪生町南二丁目地内	2014年3月
71	神島マンホールポンプ	神島町地内	2014年3月

	施設名	所在地	供用開始年月
(マンホールポンプ)			
72	今津第4マンホールポンプ	今津町地内	2014年3月
73	沼隈常石第9マンホールポンプ	沼隈町地内	2014年6月
74	戸手第2マンホールポンプ	新市町地内	2015年3月
75	大門第1マンホールポンプ	大門町地内	2015年3月
76	大門第2マンホールポンプ	大門町地内	2015年3月
77	大門第3マンホールポンプ	大門町旭地内	2015年3月
78	高西町一丁目マンホールポンプ	高西町一丁目地内	2015年3月
79	今津第3マンホールポンプ	今津町地内	2015年3月
80	今津北マンホールポンプ	今津町地内	2015年3月
81	松永町三丁目マンホールポンプ	松永町三丁目地内	2015年3月
82	沼隈常石第6マンホールポンプ	沼隈町地内	2015年5月
83	坪生第6マンホールポンプ	坪生町一丁目地内	2015年6月
84	坪生第7マンホールポンプ	坪生町六丁目地内	2016年3月
85	箕島第2マンホールポンプ	箕島町地内	2016年3月
86	沼隈常石第2マンホールポンプ	沼隈町地内	2016年3月
87	水呑第4マンホールポンプ	水呑町地内	2017年12月
88	引野マンホールポンプ	引野町地内	2018年3月
89	食肉センターマンホールポンプ	御幸町地内	2019年11月
90	伊勢丘第1マンホールポンプ	伊勢丘四丁目地内	2020年4月
91	伊勢丘第2マンホールポンプ	伊勢丘四丁目及び伊勢丘二丁目地内	2019年11月
92	草戸第1マンホールポンプ	草戸町地内	2020年4月
93	坪生第10マンホールポンプ	坪生町南三丁目地内	2020年4月
94	坪生第11マンホールポンプ	坪生町南三丁目地内	2020年4月

(5) 汚水関連施設位置図

2020年（令和2年）4月1日現在



各番号は、「(4) 汚水関連施設一覧」の番号の施設と一致する。

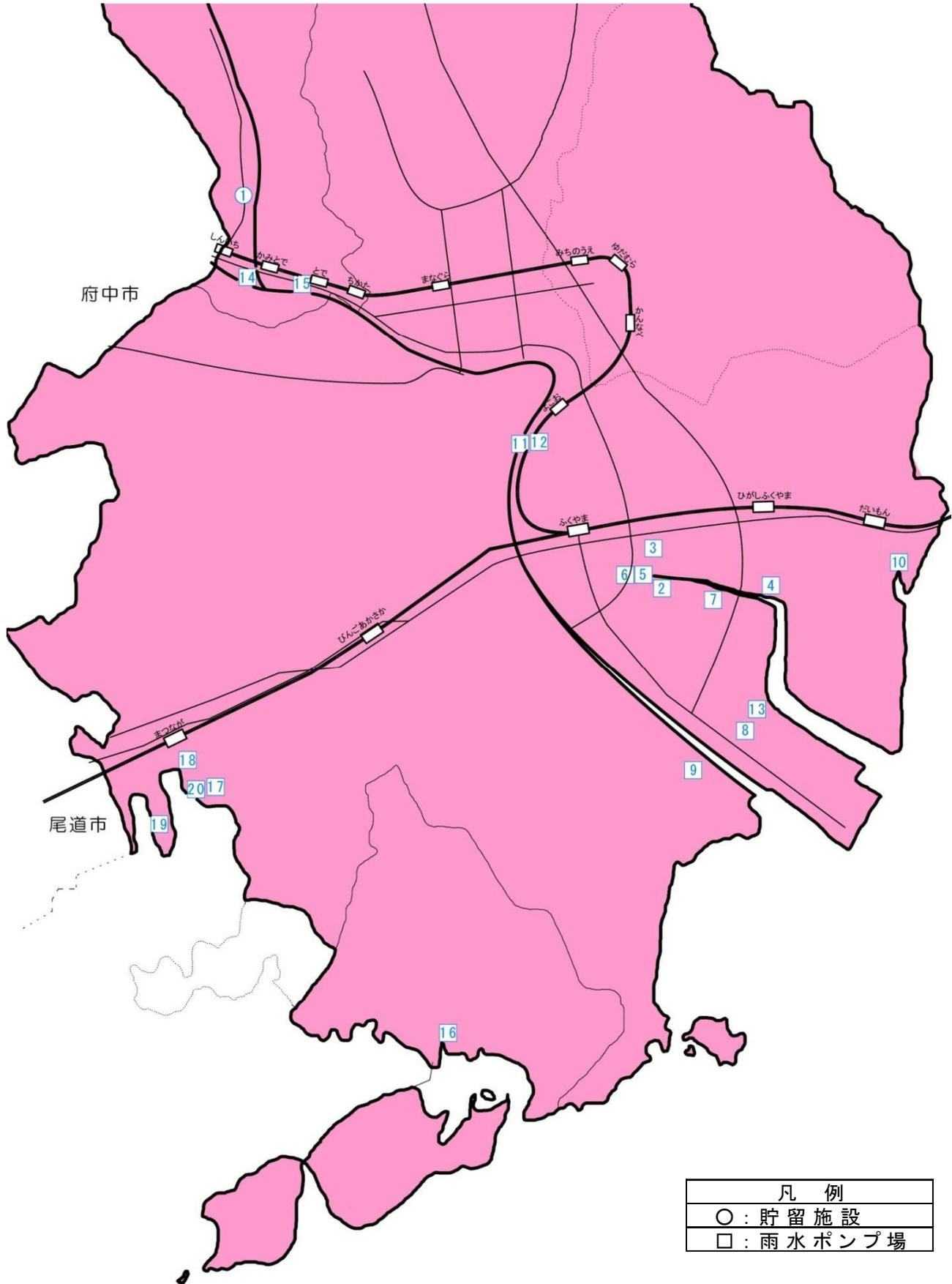
(6) 雨水関連施設一覧

2020年(令和2年)4月1日現在

	施設名	所在地	供用開始年月
(貯留施設)			
1	宮内調整池	新市町大字新市地内	2011年4月
(雨水ポンプ場)			
2	中央ポンプ場	東川口町一丁目1番1号	2011年4月
3	大山ポンプ場	入船町三丁目4番13号	1973年4月
4	手城ポンプ場	東手城町二丁目16番2号	1988年11月
5	松浜ポンプ場	松浜町三丁目1番52号	1983年4月
6	新浜ポンプ場	松浜町三丁目1番59号	1959年6月
7	一ツ樋ポンプ場	東川口町一丁目5番2号	1968年4月
8	箕島ポンプ場	箕島町字飛地5816-150	1967年4月
9	水呑ポンプ場	水呑町字南新田十丁目地内	1975年4月
10	大津野ポンプ場	大門町五丁目13番40号	1985年11月
11	中津原ポンプ場	御幸町大字中津原47番地	2008年9月
12	千田ポンプ場	御幸町字坂田渡158-2	1990年3月
13	新涯ポンプ場	新涯町四丁目18番23号	1985年4月
14	新市ポンプ場	新市町大字新市291番地	1993年5月
15	戸手ポンプ場	新市町大字戸手1017-1	1987年4月
16	千年ポンプ場	沼隈町草深地内	1977年4月
17	柳津ポンプ場	柳津町三丁目1番55号	1994年3月
18	松永ポンプ場	松永町五丁目4番15号	1977年10月
19	機織ポンプ場	南松永町三丁目6番40号	2002年4月
20	相生ポンプ場	柳津町一丁目10番1号	1989年6月

(7) 雨水関連施設位置図

2020年（令和2年）4月1日現在



各番号は「(6)雨水関連施設一覧」の番号の施設と一致する。

3 業務

(1) 流入水量

(単位：m³)

年度	福山市 公共下水道 計 ①+②	芦田川浄化センター				松永浄化 センター ②
		福山市 公共下水道 ①	服部地区 農業集落 排水施設	府中市	計	
2015	41,348,155	39,060,697	106,673	765,540	39,932,910	2,287,458
2016	41,456,631	39,127,613	104,618	786,649	40,018,880	2,329,018
2017	41,461,084	39,164,846	107,775	800,459	40,073,080	2,296,238
2018	41,439,136	39,051,243	108,953	804,944	39,965,140	2,387,893
2019	39,361,810	36,932,972	106,539	779,149	37,818,660	2,428,838
4月	3,091,890	2,889,223	8,737	62,900	2,960,860	202,667
5月	3,186,718	2,983,914	9,067	65,209	3,058,190	202,804
6月	3,273,302	3,072,536	8,789	64,265	3,145,590	200,766
7月	3,762,376	3,549,488	9,397	70,655	3,629,540	212,888
8月	3,515,243	3,306,470	9,582	67,348	3,383,400	208,773
9月	3,290,311	3,094,668	8,919	63,313	3,166,900	195,643
10月	3,310,912	3,105,518	8,959	68,723	3,183,200	205,394
11月	3,123,483	2,922,736	8,518	61,646	2,992,900	200,747
12月	3,311,621	3,107,819	8,847	64,654	3,181,320	203,802
1月	3,247,811	3,047,536	8,801	64,313	3,120,650	200,275
2月	2,929,575	2,738,681	8,106	60,913	2,807,700	190,894
3月	3,318,568	3,114,383	8,817	65,210	3,188,410	204,185
月平均	3,280,151	3,077,748	8,878	64,929	3,151,555	202,403
日平均	107,546	100,910	291	2,129	103,330	6,636
日最大	164,829	156,656	312	2,602	159,570	8,173

晴天時処理水量

日最大	147,603	140,556	299	2,245	143,100	7,047
		7月21日				
日平均	104,965	98,345	291	2,111	100,748	6,620

雨天時処理水量

日最大	164,829	156,656	312	2,602	159,570	8,173
		8月28日				
日平均	114,778	108,122	290	2,178	110,591	6,656

(2) 建設改良工事の概況（1件3千万円以上の工事）

ア 公共施設整備事業

工事名	工事費（円）	工事場所	施行内容
新涯ポンプ場ポンプ設備工事	765,763,317	新涯町四丁目	ポンプ設備工事 一式 (No.2ポンプ外設置 口径2,000mm×1基)
松永浄化センター汚泥処理棟機械設備工事	181,656,000	柳津町一丁目	汚泥処理機械設備取替工 一式
下水道管渠耐震化工事（31-1）	118,688,900	松浜町一丁目外2か町	管きよ更生工 幅2,700mm×高さ1,890mm 延長97.0m
鞆幹線下水道築造工事（31-1）	98,787,700	鞆町鞆	管渠工（推進）口径250mm 延長101.0m, 管渠工（開削）口径200mm 延長55.1m, 管渠工（開削）口径150mm 延長20.5m, 円形2号マンホール工 2箇所, 塩ビ製小型マンホール工 5箇所, 取付管工 5箇所, 立坑工 2箇所, 付帯工 一式
下水道管渠耐震化工事（31-2）	86,711,570	松浜町三丁目及び緑町	管きよ更生工 口径2,400mm 延長100.2m, マンホール管口耐震化工 口径2,400mm 2箇所
松永浄化センター汚泥処理棟電気設備工事	82,920,000	柳津町一丁目	汚泥処理電気設備取替工 一式
機織排水区雨水貯留施設築造工事（その1）	80,560,700	松永町二丁目	仮設鋼矢板打設工 一式, 地盤改良工 一式
新涯ポンプ場プラント電気設備工事	74,887,400	新涯町四丁目	運転操作設備工 一式, 計装設備工 一式, 監視制御設備工 一式
大門・西谷1号・2号幹線下水道築造工事（31-1）	68,973,300	大門町及び大門町一丁目	管渠工（推進）口径250mm 延長67.3m, 管渠工（推進）口径200mm 延長50.4m, 管渠工（開削）口径200mm 延長10.4m, 円形2号マンホール工 4箇所, 円形1号マンホール工 1箇所, 取付管工 1箇所, 立坑工 3箇所, 付帯工 一式
新涯ポンプ場除塵機設備工事	59,510,000	新涯町四丁目	除塵機製作工 自動除塵機 2基 粗目スクリーン 2基, 機器据付工 一式
松永ポンプ場耐震化工事	47,036,000	松永町五丁目	ポンプ場耐震化工事 一式
松永2号雨水枝線築造工事（1工区）	41,110,300	宮前町一丁目	函渠工 幅900mm×高さ800mm 延長63.0m

(3) 保存工事の概況（1件5百万円以上の工事）

工事名	工事費（円）	工事場所	施行内容
手城ポンプ場遊水池整備工事（その1）	76,633,700	東手城町二丁目	工事面積 2,500㎡ 土工 一式, 地盤改良工 5,100㎡, 仮設工 一式
汚水管修繕工事（伊勢丘19号線外5路線）	9,616,200	伊勢丘八丁目外3か町	内面補強工（本管部）口径250mm 28箇所, 内面補強工（取付管接合部）口径250-150mm 2箇所
川口排水機場除塵機修繕工事	5,500,000	新浜町一丁目	除塵機修繕 一式

(4) 特定事業場数等と立入調査・指導状況

ア 特定事業場数

年度 区分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
旧新浜処理区	60	59	58	59	60
松永処理区	14	14	14	14	14
芦田川処理区	172	171	170	173	177
計	246	244	242	246	251

※ 下水道法に基づき、水質基準の順守が特に義務付けられている事業場の数。

イ 規制対象事業場数

年度 区分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
旧新浜処理区	2	1	1	3	3
松永処理区	3	3	3	3	3
芦田川処理区	11	10	11	11	13
計	16	14	15	17	19

※ 福山市下水道条例に基づき、除害施設の設置が義務付けられている事業場の数。

ウ 立入事業場数

年度 区分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
旧新浜処理区	5	13	15	14	19
松永処理区	2	3	2	3	3
芦田川処理区	26	34	56	60	57
計	33	50	73	77	79

エ 延べ立入調査回数

年度 区分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
旧新浜処理区	6	26	34	34	36
松永処理区	3	6	6	7	7
芦田川処理区	50	67	123	137	145
計	59	99	163	178	188

オ 行政指導処分数

年度 区分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
行政指導	9	18	30	22	29
口頭指導	-	1	11	5	8
注意指導	9	13	13	11	11
改善勧告	-	4	6	6	10
行政処分	-	-	-	-	-
改善命令	-	-	-	-	-
一時停止命令	-	-	-	-	-
計	9	18	30	22	29

4 松永浄化センター

(1) 計画・運転概要

項目	年度別	全体計画	事業計画	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
運 転 開 始								
処 理 区 域 面 積 (h a)		798.5	639.3	558	559	560	566	567
処 理 区 域 人 口 (人)		23,000	22,010	26,295	26,297	26,684	26,425	26,510
処 理 能 力 (m ³ /日)		11,200	11,000	7,400	7,400	7,400	7,400	7,400
流 入 水 量 (m ³ /年)				2,287,458	2,329,018	2,296,238	2,387,893	2,428,838
日 最 大 (m ³ /日)				7,628	8,813	8,708	17,017	8,173
日 平 均 (m ³ /日)				6,250	6,381	6,291	6,541	6,636
晴 天 日 最 大 (m ³ /日)				6,737	6,686	6,663	6,918	7,047
揚 水 量 (m ³ /年)				2,317,530	2,364,360	2,389,780	2,441,370	2,477,630
再 利 用 水 量 (m ³ /年)				67,951	73,402	72,959	81,424	68,589
初 沈 汚 泥 引 抜 量 (m ³ /年)				27,159	62,182	62,947	53,041	48,311
余 剰 汚 泥 引 抜 量 (m ³ /年)				67,542	69,166	67,450	58,744	64,083
脱 水 汚 泥 供 給 量 (m ³ /年)				26,183	24,751	24,231	26,919	29,317
脱 水 ケ ー キ 量 (t/年)				2,263	2,237	2,233	2,373	2,310
脱 水 ケ ー キ 含 水 率 (%)				76	76	75	76	76
高 分 子 凝 集 剤 使 用 量 (kg/年)				6,150	6,000	6,600	6,750	7,650
次 亜 塩 素 酸 ナトリウム 使 用 量 (L/年)				33,566	32,027	29,614	30,010	35,670
反 応 槽	M L S S (mg/L)	1,500~2,000	1,500~2,000	1,832	1,891	1,880	1,862	1,980
	M L V S S / M L S S 比 (%)			77.9	78.5	79.5	79.1	76.6
	B O D - S S 負 荷 (kg/SSkg・日)			0.198	0.204	0.176	0.158	0.162
	D O (mg/L)			0.5	0.5	0.4	0.5	0.6
	送 気 倍 率 (倍)			7.2	7.4	7.4	7.5	8.4
	返 送 率 (%)	50~100	50~100	51	52	53	52	51

(2) 運転管理状況

区 分 年度別	流入水量(放流) (m ³)				脱水汚泥 (t)				
	総水量	日平均	日最大	日最小	総量	稼働日(日)	日平均	含水率(%)	搬出量
2015	2,287,458	6,250	7,628	5,396	2,205.25	348	6.33	76.3	2,263.09
2016	2,329,018	6,381	8,813	5,477	2,182.31	339	6.50	75.8	2,236.88
2017	2,296,238	6,291	8,708	5,281	2,174.97	312	6.99	75.4	2,232.76
2018	2,387,893	6,541	17,017	5,732	2,322.30	312	7.52	76.2	2,373.42
2019	2,428,838	6,636	8,173	5,985	2,254.83	323	6.96	75.9	2,309.85
4月	202,667	6,756	7,020	6,253	195.95	26	7.54	75.1	200.84
5月	202,804	6,542	6,834	6,050	198.73	27	7.36	75.6	211.98
6月	200,766	6,692	7,129	6,085	179.59	26	6.91	76.1	178.23
7月	212,888	6,867	8,173	6,221	187.78	28	6.71	77.4	192.07
8月	208,773	6,735	7,179	5,996	200.46	31	6.07	78.4	211.40
9月	195,643	6,521	6,785	6,156	159.15	26	6.12	75.1	162.77
10月	205,394	6,626	8,116	6,101	177.19	27	6.56	75.3	179.11
11月	200,747	6,692	6,982	6,197	166.99	25	6.68	75.0	176.69
12月	203,802	6,574	6,909	6,236	199.26	27	7.38	75.9	195.00
1月	200,275	6,460	7,079	5,985	202.22	26	7.78	76.2	205.51
2月	190,894	6,583	6,808	6,279	181.76	24	7.57	75.6	193.11
3月	204,185	6,587	6,818	6,350	205.75	30	6.86	75.1	203.14

(3) 法定検査結果

ア 流入水

		m/n	年平均値	最大値	最小値
流入水量 (m ³ /日)		-/24	6,743	7,168	6,463
一般項目	気温 (°C)	-/24	15.9	30.0	4.0
	水温 (°C)	-/24	22.3	27.6	17.6
	透視度 (度)	-/24	5	7	4
	pH	-/24	7.5	7.7	7.2
	浮遊物質 (mg/L)	-/24	199	300	115
	BOD (mg/L)	-/24	220	320	180
	COD (mg/L)	-/24	134	176	105
	全窒素 (mg/L)	-/24	40.5	59.5	27.6
	アンモニア性窒素 (mg/L)	-/23	26.4	30.8	22.2
	亜硝酸性窒素 (mg/L)	-/24	ND	0.2	ND
	硝酸性窒素 (mg/L)	-/24	0.4	0.6	ND
	有機性窒素 (mg/L)	-/23	13.8	36.9	4.9
	全りん (mg/L)	-/24	4.9	5.8	3.9
	りん酸態りん (mg/L)	-/24	2.6	3.0	2.2
	n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)	-/24	31	91	18
	よう素消費量 (mg/L)	-/24	17.7	21.4	14.3
	塩素イオン (mg/L)	-/24	90.0	111	76.4
大腸菌群数 (個/cm ³)	-/24	97,000	204,000	32,000	
健康項目	カドミウム (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	シアン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	有機りん (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	鉛 (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	六価クロム (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	ひ素 (mg/L)	-/2	ND	ND	ND

※ 採水場所はポンプ棟である。

※ mは下水道法第8条の規定に基づく放流水の水質基準を超過した検体数, nは全検体数を指し, NDとは検出下限値未満のことである。

		m/n	年平均値	最大値	最小値
健康項目	アルキル水銀 (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	総水銀 (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	ポリ塩化ビフェニル (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	トリクロロエチレン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	テトラクロロエチレン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	ジクロロメタン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	四塩化炭素 (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	1, 2-ジクロロエタン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	1, 1-ジクロロエチレン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	シス-1, 2-ジクロロエチレン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	1, 1, 1-トリクロロエタン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	1, 1, 2-トリクロロエタン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	1, 3-ジクロロプロペン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	チウラム (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	シマジン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	チオベンカルブ (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	ベンゼン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	セレン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	ほう素 (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	ふっ素 (mg/L)	-/2	0.4	0.4	0.3
アンモニア, アンモニウム化合物 亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/L)	-/23	26.7	31.3	22.6	
1, 4-ジオキサン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND	
特殊項目	フェノール類 (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	銅 (mg/L)	-/2	0.036	0.038	0.033
	亜鉛 (mg/L)	-/2	0.096	0.100	0.092
	溶解性鉄 (mg/L)	-/2	0.1	0.2	ND
	溶解性マンガン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	全クロム (mg/L)	-/2	ND	ND	ND

イ 放流水

		m/n	年平均値	最大値	最小値	基準値
流入水量 (m ³ /日)		-/24	6,743	7,168	6,463	
一般項目	気温 (°C)	-/24	15.9	30.0	4.0	
	水温 (°C)	-/24	24.3	30.4	19.3	
	透視度 (度)	-/24	90	100	70	
	pH	0/24	7.5	8.2	7.2	5.8~8.6
	浮遊物質 (mg/L)	0/24	3	4	1	40
	BOD (mg/L)	0/24	1.4	2.0	0.8	15
	COD (mg/L)	0/24	14.0	15.1	13.0	30
	全窒素 (mg/L)	0/24	26.0	33.9	20.7	120
	アンモニア性窒素 (mg/L)	-/23	24.3	28.4	19.7	
	亜硝酸性窒素 (mg/L)	-/24	0.1	0.7	ND	
	硝酸性窒素 (mg/L)	-/24	ND	0.3	ND	
	有機性窒素 (mg/L)	-/23	1.7	5.5	0.1	
	全りん (mg/L)	0/24	0.8	1.3	0.5	16
	りん酸態りん (mg/L)	-/24	0.5	0.8	0.3	
	n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)	0/24	ND	2	ND	25
	よう素消費量 (mg/L)	-/24	4.3	11.4	0.8	
	塩素イオン (mg/L)	-/24	79.0	92.1	66.0	
	大腸菌群数 (個/cm ³)	0/24	22	91	1	3,000
健康項目	カドミウム (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.03
	シアン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	1
	有機りん (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	1
	鉛 (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.1
	六価クロム (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.5
	ひ素 (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.1

※ 採水場所は放流口である。

※ mは下水道法第8条の規定に基づく放流水の水質基準を超過した検体数, nは全検体数を指し, NDとは検出下限値未満のことである。

		m/n	年平均値	最大値	最小値	基準値
健康項目	アルキル水銀 (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	検出されないこと
	総水銀 (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.005
	ポリ塩化ビフェニル (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.003
	トリクロロエチレン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.1
	テトラクロロエチレン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.1
	ジクロロメタン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.2
	四塩化炭素 (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.02
	1, 2-ジクロロエタン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.04
	1, 1-ジクロロエチレン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	1
	シス-1, 2-ジクロロエチレン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.4
	1, 1, 1-トリクロロエタン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	3
	1, 1, 2-トリクロロエタン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.06
	1, 3-ジクロロプロペン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.02
	チウラム (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.06
	シマジン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.03
	チオベンカルブ (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.2
	ベンゼン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.1
	セレン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.1
	ほう素 (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	230
	ふっ素 (mg/L)	0/12	0.2	0.3	0.1	15
アンモニア, アンモニウム化合物 亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/L)	0/23	9.8	11.4	7.9	100	
1, 4-ジオキサン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.5	
特殊項目	フェノール類 (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	5
	銅 (mg/L)	0/12	0.005	0.009	ND	3
	亜鉛 (mg/L)	0/12	0.032	0.039	0.017	2
	溶解性鉄 (mg/L)	0/12	ND	0.1	ND	10
	溶解性マンガン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	10
	全クロム (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	2

5 芦田川流域下水道事業

芦田川流域下水道の地域も産業経済の発展に伴い人口は急増し、都市化現象が著しく進むとともに芦田川の水質も汚濁が進んできた。このまま放置すれば地域住民の生活環境は悪化し、住民の健康にも重大な影響を与えるおそれが出てきた。

このため国の施策である「公害対策基本法」が施行されるにあたり、広島県でも芦田川流域の水質環境の保全を図るため、工場や事業所など企業からの排水は、「水質汚濁防止法」により水質を規制することとし、一方、家庭排水などは「下水道法」によって、芦田川を美しく、きれいに保全するための芦田川流域下水道整備計画を策定し、広島県と関係市が共同して整備計画を実施している。

また、芦田川浄化センターでは自治体間を超えた共同処理として、広島県、福山市及び尾道市の3事業者で汚泥固形燃料化事業を実施しており、2017年（平成29年）1月から供用を開始している。

(1) 整備計画概要及び実績

事業主体	広島県	
関係市	福山市・府中市（2市）	
管渠延長	芦田川幹線	25 km
	沼隈幹線	14 km
浄化センター (1か所)	所在地	福山市箕沖町106番地 芦田川浄化センター
	処理方式	標準活性汚泥法＋急速砂ろ過
	排除方式	分流式
	運転開始	1984年10月1日
中継ポンプ場	1か所(新浜中継ポンプ場)	
事業年度	1974年度（昭和49年度）～2030年度（令和12年度）	
総事業費	1,104億円	

	計 画	実 績 (2019年度末)
処 理 人 口	356,850 人	333,033 人
処 理 面 積	11,725.5 ha	7,114.1 ha
処 理 能 力	205,640 m ³ /日	179,200 m ³ /日

(2) 事業計画等の経過

都市計画決定	下水道法 事業認可	都市計画法 事業認可	主な変更等内容
(当初計画) 1974年12月24日	(当初計画) 1975年2月13日	(当初計画) 1975年3月3日	
(第1回変更) 1978年11月10日	(第1回変更) 1978年12月11日	(第1回変更) 1979年2月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・処理分区の変更 ・芦田川幹線の位置変更 ・新浜中継ポンプ場の配置変更 ・処理場の構造・配置変更
(第2回変更) 1984年7月30日	(第2回変更) 1984年8月31日	(第2回変更) 1984年9月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・認可区域の縮小 ・芦田川幹線の変更 ・加茂幹線の廃止 ・接続点の追加 ・新浜中継ポンプ場の変更、駅家中継ポンプ場の廃止 ・処理能力の縮小
			<ul style="list-style-type: none"> ・芦田川浄化センター一部供用開始 (1984年10月)
		(第3回変更) 1987年6月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・認可区域の拡大 ・事業期間の延伸
(第3回変更) 1989年3月2日	(第3回変更) 1989年3月29日	(第4回変更) 1989年4月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・認可区域の拡大 ・芦田川幹線の変更 ・処理場の変更 ・事業期間の延伸
(第4回変更) 1991年9月30日	(第4回変更) 1991年10月24日		<ul style="list-style-type: none"> ・認可区域の拡大 ・処理分区の変更 ・芦田川幹線の管径変更 ・処理場の変更
	(第5回変更) 1993年3月22日		<ul style="list-style-type: none"> ・認可区域の拡大
	(第6回変更) 1994年4月21日		<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ場の変更
(第5回変更) 1995年12月18日			<ul style="list-style-type: none"> ・沼隈町及び福山市の一部の追加 ・沼隈幹線の追加
	(第7回変更) 1996年2月22日	(第5回変更) 1996年3月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・期間の延伸
	(第8回変更) 1996年3月29日	(第6回変更) 1996年4月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・認可区域の拡大 ・処理分区の変更 ・沼隈町の編入 ・沼隈幹線の追加
(第6回変更) 1997年8月11日	(第9回変更) 1997年12月11日	(第7回変更) 1997年12月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・沼隈幹線の一部ルート変更 ・処理分区の分割 ・水処理施設の寸法変更
	(第10回変更) 1999年2月15日	(第8回変更) 1999年3月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・認可区域の拡大 ・事業期間の延伸
	(第11回変更) 2000年7月14日	(第9回変更) 2000年7月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・認可区域の拡大 ・事業期間の延伸
	(第12回変更) 2002年3月29日		<ul style="list-style-type: none"> ・認可区域の拡大
	(第13回変更) 2004年9月3日	(第10回変更) 2004年12月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の見直し ・認可区域の拡大 ・処理場の変更 ・事業期間の延伸
(第7回変更) 2006年8月7日	(第14回変更) 2006年6月8日	(第11回変更) 2006年6月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・処理場敷地面積の変更 ・汚泥脱水機の機種変更
	(第15回変更) 2007年3月5日	(第12回変更) 2007年3月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・認可区域の拡大 ・処理場の変更 ・事業期間の延伸
	(第16回変更) 2011年11月28日	(第13回変更) 2012年1月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の見直し ・認可区域の拡大 ・事業期間の延伸
	(第17回変更) 2012年9月6日		<ul style="list-style-type: none"> ・汚泥固形燃料化施設の追加
	(第18回変更) 2018年2月7日	(第14回変更) 2018年2月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画区域の拡大 ・事業期間の延伸 ・急速ろ過池の処理方式変更 ・汚泥固形燃料化施設能力の変更 ・下水道法改正に伴う様式1～3の追加

6 合流式下水道改善事業

福山市では、市の中心部578haで雨水と汚水を同一の管渠で排除する合流式下水道を採用している。合流式下水道は、古くから下水道事業に着手している都市を中心に採用されてきた。

しかし、都市化の進展により雨水流出量が増大し、少量の降雨でもたびたび浸水被害が発生するようになったことに加え、降雨時に処理場の処理能力を上回る下水量になった際、下水の一部が未処理のまま放流され、公共用水域の水質などに影響を与えることがあった。

そこで本市は、早急に浸水被害の軽減と公共用水域の水質保全を図るために1995年度（平成7年度）から合流式下水道改善事業に着手し、増補管とその流末に雨水ポンプ場を整備した。さらに公共用水域への汚濁負荷を軽減するための中央雨水滞水池を建設するなど、市民が安心・安全に暮らせるまちづくりの実現に向けた取組を行っている。

○全体計画及び実績

	全 体 計 画	実 績 (2019年度末)
排 水 区 域	578ha	
事 業 期 間	1995年度～2021年度	
増 補 管	φ900mm～φ4,500mm L=7,680m	φ2,800mm～φ4,500mm L=5,592m
ポ ン プ 施 設	φ2,000mm 3台 φ1,500mm 1台	φ2,000mm 1台 ※1 φ1,500mm 1台 ※1
雨 水 滞 水 池	8,000 m ³	8,000 m ³ ※2
高 速 ろ 過 施 設	78,890 m ³ /日	78,890 m ³ /日 ※2
敷 地 面 積	8,243 m ²	8,243 m ²
総 事 業 費	約250億円	約184億円

※1 2011年（平成23年）4月供用開始

※2 2014年（平成26年）4月供用開始

○合流改善計画と達成状況

合流改善目標	指標	改善前	目標	2019年度 達成状況
①汚濁負荷の削減 分流式下水道並みに年間BOD 総放流負荷量を削減する	年間BOD総 放流負荷量	412.7t/年	220.2t/年	232.8t/年 ※1 ↓ 123.5t/年
②公衆衛生上の安全確保 未処理放流回数を対策前より 半減させる	未処理放流回 数	64回	32回	23回
③夾雑物の削減 吐口において夾雑物を極力防止	スクリーンの 設置有無	あり (達成済)	—	—
④総降雨水量10mm～30mm時に吐口 からのBOD平均水質が40mg/L 以下であること	BOD平均放 流水質	40mg/L以上 あり	すべて 40mg/L以下	30.4mg/L

※1 合流改善施設がない場合を試算した値

7 浸水対策事業

公共下水道の役割としては大雨による浸水被害を軽減することも重要であり、市民が安心・安全に暮らせるまちづくりのため、時間雨量42mmの降雨により浸水被害が起これる市街地において、雨水を排除するポンプ場や水路の整備に取り組んでいる。

これまで、福山市公共下水道事業経営計画※1（計画期間：2013年度（平成25年度）～2017年（平成29年度））に基づいて主要な雨水幹線及びポンプ場の整備に取り組んでおり、2019年度（令和元年度）には新涯ポンプ場のポンプ設備工事が完成した。現在は、一ッ樋ポンプ場や千田ポンプ場の整備に取り組んでいる。

また、「平成30年7月豪雨災害」では、市内において甚大な浸水被害が発生したことから、再度災害の防止に向けた効果的な浸水対策を検討するため、国、県、市及び土地改良区で構成する「福山市域における浸水対策協議会」において、被害発生要因などを分析し、2019年（平成31年）2月に流域毎※2の対策をとりまとめたところである。

さらに、2019年（令和元年）9月には、手城川流域における床上浸水被害解消に向けた取組が、国土交通省の「100mm/h安心プラン」に登録された。

今後も引き続き、国、県等と連携する中で、市街地における抜本的な浸水対策に取り組んでいく予定である。

※1 福山市公共下水道事業経営計画は、2017年（平成29年）2月に策定した「福山市上下水道事業中長期ビジョン（経営戦略）計画期間：2017年度（平成29年度）～2026年度（令和8年度）」に継承した。

※2 流域毎…芦田川中流域、高屋川・小田川流域、瀬戸川流域、手城川流域、松永地域など

○全体計画及び実績

	全 体 計 画	実 績 (2019年度末)
整 備 区 域	6, 2 2 7. 5 h a	3, 3 8 7. 4 h a
事 業 期 間	1 9 5 2年度～2 0 3 0年度	
整 備 率		5 4. 4%
対 象 場 所 及 び 路 線		新涯ポンプ場ポンプ設備工事等
事 業 費		1, 2 9 6. 1 百万円

※ 対象場所及び路線、事業費は、2019年度の実績である。

8 下水道地震対策事業

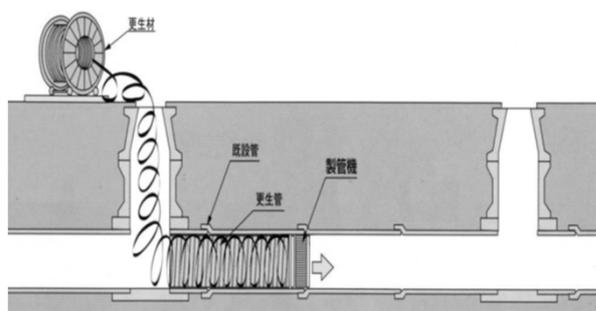
近年、全国各地で大規模地震が発生し、下水道施設に甚大な被害をもたらしている。国においては、1995年（平成7年）に発生した兵庫県南部地震の被害を踏まえ、従来の耐震基準を強化した「下水道施設の耐震対策指針」を1997年（平成9年）に策定した。

本市においても地震による下水道機能の停止によって市民生活や社会活動へ与える影響を最小限に抑えるため、2008年度（平成20年度）に「福山市下水道地震対策緊急整備計画」を策定した。また、同計画の完了に伴い2013年度（平成25年度）には「福山市下水道総合地震対策計画」を策定し、継続的な下水道施設の耐震化に取り組んでいる。

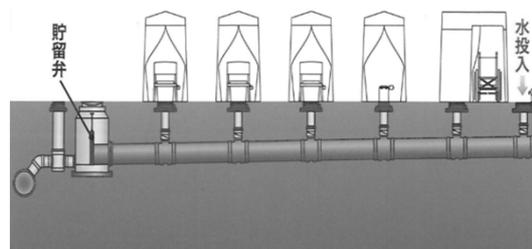
具体的には、防災拠点（市役所本庁舎）や広域避難場所から流域下水道までの管路の耐震化をはじめ、マンホールトイレの整備や松永浄化センター・水呑ポンプ場など、施設の耐震補強を行っている。

○下水道総合地震対策計画及び実績

	下水道総合地震対策計画	実績 (2019年度末)
対象場所 及び施設	防災拠点及び広域避難場所 松永浄化センター 水呑ポンプ場、松永ポンプ場	木之庄・松浜幹線 駅家公園、竹ヶ端運動公園 松永浄化センター、水呑ポンプ場
事業期間	2013年度～2020年度	
耐震化管渠	φ450mm～φ2,700mm L＝約1.6km	φ450mm～φ2,700mm L＝約1.4km
マンホール トイレ整備	広域避難場所 48基	広域避難場所 40基
耐震化施設	松永浄化センター 水呑ポンプ場、松永ポンプ場	松永浄化センター 水呑ポンプ場
総事業費	約18.6億円	約14.2億円



下水道管渠の耐震化工事のイメージ
(既設管の中に、地震に強い管を新しく造る)



マンホールトイレのイメージ

9 下水道長寿命化事業

全国的に下水道管渠の老朽化に起因した道路陥没事故が近年多く発生している。管渠が破損すれば、下水の収集や排除に影響するだけでなく、道路陥没により交通障害なども引き起こすことになる。

本市においては、1952年度（昭和27年度）から下水道事業に着手し、2019年度（令和元年度末時点）の汚水管渠の整備延長は約1,830kmとなっており、その内、約58kmが耐用年数である50年を経過している。

今後、更に老朽管路が増加することから、管路破損の未然防止とライフサイクルコストの最小化の観点を踏まえ、耐震化などの機能向上も考慮した「福山市下水道長寿命化計画」（第1期）を2010年度（平成22年度）に策定し、埋設から40年以上経過している旧新浜処理区内の重要度の高い幹線管渠について、劣化度と緊急度を考慮し管渠の更生を行った。

同計画の完了に伴い2013年度（平成25年度）には第2期計画を策定し、緊急輸送道路と主要幹線道路に埋設されている管渠のうち劣化度の高い管渠の更生や、経年劣化したマンホール蓋の取替えを行うなど、継続的な下水道施設の長寿命化に取り組んできた。

また、2019年度（令和元年度）には「福山市公共下水道ストックマネジメント計画」を策定し、長期的な視点による下水道施設全体の老朽化が進む状況を踏まえる中で、リスク評価等による優先順位付けを行い、施設の点検・調査、修繕・改築を一体的に実施し、下水道施設全体を対象とした施設管理の最適化に取り組んでいる。

○公共下水道ストックマネジメント計画及び実績

	公共下水道 ストックマネジメント計画	実 績 (2019年度末)
対 象 場 所	旧新浜処理区	東桜町，三之丸町，昭和町， 霞町四丁目ほか
事 業 期 間	2019年度～2023年度	
対策施設数量	φ150mm～φ1,000mm L＝約4.6km マンホール 113基 マンホール蓋 242箇所	マンホール蓋 129箇所
総 事 業 費	約8.0億円	約0.9億円



【施工前】



【施工後】

10 普及促進等

(1) 下水道事業受益者負担金収納

(単位：件,円)

年度	調 定		収 納		未 収		収 納 率	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
2015	13,403	149,868,370	13,031	144,868,570	372	4,999,800	97.22%	96.66%
2016	11,051	169,939,370	10,739	165,721,790	312	4,217,580	97.18%	97.52%
2017	11,783	172,424,460	11,423	168,649,340	360	3,775,120	96.94%	97.81%
2018	7,891	142,139,730	7,603	139,293,950	288	2,845,780	96.35%	98.00%
2019	7,847	139,870,950	7,543	135,756,050	304	4,114,900	96.13%	97.06%

※ 調定及び収納は、当該年度のものである。

※ 未収は、不納欠損前の数値である。

受益者負担金の負担区分

新浜負担区	136円/m ²
芦田川負担区	246円/m ²
松永負担区	246円/m ²

(2) 水洗便所改造資金融資あっせん制度の利用状況及び利子補給実行状況

(単位：件(人),円)

年度	実行件数 (人数)	実行金額	利子補給率	利子補給額
2015	41	23,290,000	1.15%	920,945
2016	42	23,490,000	1.00%	670,403
2017	35	18,290,000	0.95%	555,702
2018	19	9,520,000	1.00%	402,680
2019	17	10,490,000	1.00%	303,574

(3) 私道への公共下水道布設制度の申請状況

(単位：件)

年度	件 数
2015	16
2016	24
2017	17
2018	16
2019	1

11 下水道使用料

(1) 下水道使用料調定

(単位：件, 円, 税込)

年度	調 定		徴 収 方 法			
	件 数	金 額	口 座		納 付	
			件 数	金 額	件 数	金 額
2015	795,562	6,193,088,760	602,860	4,888,749,390	192,702	1,304,339,370
2016	810,037	6,461,204,767	612,957	5,080,876,276	197,080	1,380,328,491
2017	830,626	6,467,457,406	627,254	5,138,972,138	203,372	1,328,485,268
2018	844,375	6,517,314,845	629,939	5,270,199,546	214,436	1,247,115,299
2019	857,830	6,501,833,792	635,056	5,276,364,106	222,774	1,225,469,686
1期	142,489	1,027,660,762	105,210	834,646,333	37,279	193,014,429
2期	142,384	1,091,035,109	105,556	884,488,803	36,828	206,546,306
3期	142,413	1,094,672,647	105,784	888,890,992	36,629	205,781,655
4期	143,073	1,097,209,408	105,951	889,100,556	37,122	208,108,852
5期	143,258	1,076,052,565	106,249	874,345,191	37,009	201,707,374
6期	144,213	1,115,203,301	106,306	904,892,231	37,907	210,311,070
期平均	142,972	1,083,638,965	105,843	879,394,018	37,129	204,244,948

※ 調定は、当該年度末の数値である。

(2) 下水道使用料収納

(単位：件, 円, 税込)

年度	調 定		収 納		未 収		収 納 率	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
2015	795,562	6,193,088,760	776,476	6,071,299,805	19,086	121,788,955	97.60%	98.03%
2016	810,037	6,461,204,767	791,335	6,347,095,218	18,702	114,109,549	97.69%	98.23%
2017	830,626	6,467,457,406	809,340	6,351,092,138	21,286	116,365,268	97.44%	98.20%
2018	844,375	6,517,314,845	822,509	6,400,501,448	21,866	116,813,397	97.41%	98.21%
2019	857,830	6,501,833,792	835,390	6,376,313,710	22,440	125,520,082	97.38%	98.07%

※ 調定及び収納は、当該年度のものである。

※ 未収は、不納欠損前の数値である。

(3) 使用料表（1か月，税抜）

用 途	基本使用料	従 量 使 用 料	
		排 除 汚 水 量	使用料 (1㎡につき)
一般用	790円	10㎡までの分	20 円
		10㎡を超え15㎡までの分	147 円
		15㎡を超え20㎡までの分	187 円
		20㎡を超え30㎡までの分	228 円
		30㎡を超え250㎡までの分	261 円
		250㎡を超える分	267 円
公衆浴場用	260円	10㎡までの分	20 円
		10㎡を超える分	46 円

12 財務

(1) 決算報告書

ア 収益的収入及び支出

収入

区 分	予		算	
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額	
第1款 下水道事業収益	円 12,557,961,000	円 △ 10,966,000		円 0
第1項 営業収益	8,248,017,000	△ 5,042,000		0
第2項 営業外収益	4,278,688,000	△ 5,924,000		0
第3項 特別利益	31,256,000	0		0

支出

区 分	予				算	
	当初予算額	補正予算額	予備費 支出額	流用増減額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額	
第1款 下水道事業費用	円 11,091,988,000	円 △ 22,222,000	円 0	円 0	円 0	円 0
第1項 営業費用	9,088,259,000	△ 22,222,000	0	0	0	0
第2項 営業外費用	1,720,435,000	0	0	0	0	0
第3項 特別損失	273,294,000	0	0	0	0	0
第4項 予備費	10,000,000	0	0	0	0	0

イ 資本的収入及び支出

収入

区 分	予			算	
	当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額	
第1款 下水道事業資本的収入	円 5,367,490,000	円 0	円 5,367,490,000	円 1,256,123,000	
第1項 企業債	3,435,200,000	0	3,435,200,000	765,700,000	
第2項 国庫補助金	1,142,500,000	0	1,142,500,000	490,423,000	
第3項 出資金	615,009,000	0	615,009,000	0	
第4項 補償金及び負担金	134,662,000	0	134,662,000	0	
第5項 固定資産売却代金	40,119,000	0	40,119,000	0	

支出

区 分	予				算	
	当初予算額	補正予算額	予備費 支出額	流用 増減額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額
第1款 下水道事業資本的支出	円 10,670,585,000	円 △ 10,449,000	円 0	円 0	円 10,660,136,000	円 1,312,300,000
第1項 建設改良費	4,070,602,000	△ 10,449,000	0	0	4,060,153,000	1,312,300,000
第2項 企業債償還金	6,594,983,000	0	0	0	6,594,983,000	0
第3項 予備費	5,000,000	0	0	0	5,000,000	0

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 5,312,609,738円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額資金3,578,019,169円及び当年度利益剰余金処分額 80,825,531円で補てんした。

額		合 計	決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
合 計					
円	円	円	円	円	
12,546,995,000	8,242,975,000	12,207,581,282	8,042,937,792	△ 339,413,718 △ 200,037,208	(うち、仮受消費税及び地方消費税 510,832,620円)
4,272,764,000		4,164,643,490		△ 108,120,510	(うち、仮受消費税及び地方消費税 37,854円)
31,256,000		0		△ 31,256,000	

額			決 算 額	地方公営企業法 第26条第2項 の規定による繰 越額	不 用 額	備 考
小 計	地方公営企業法 第26条第2項 の規定による繰 越額	合 計				
円	円	円	円	円	円	
11,069,766,000	0	11,069,766,000	10,469,888,145	0	599,877,855	
9,066,037,000	0	9,066,037,000	8,724,809,932	0	341,227,068	(うち、仮払消費税 及び地方消費税 227,004,677円)
1,720,435,000	0	1,720,435,000	1,643,495,822	0	76,939,178	(うち、仮払消費税 及び地方消費税 15,381円)
273,294,000	0	273,294,000	101,582,391	0	171,711,609	(うち、納付税額 145,344,000円)
10,000,000	0	10,000,000	0	0	10,000,000	

額		合 計	決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
継続費通次繰越額に 係る財源充当額					
円	円	円	円	円	
0	6,623,613,000	5,026,544,490	△ 1,597,068,510		
0	4,200,900,000	3,101,500,000	△ 1,099,400,000		
0	1,632,923,000	1,158,313,650	△ 474,609,350		
0	615,009,000	615,009,000	0		
0	134,662,000	151,721,840	17,059,840		
0	40,119,000	0	△ 40,119,000		

額		決 算 額	翌 年 度 繰 越 額		不 用 額	備 考
継続費 通次繰 越額	合 計		地方公営企業法 第26条の規定 による繰越額	継続費 通次繰 越額		
円	円	円	円	円	円	
0	11,972,436,000	10,339,154,228	1,277,500,000	0	1,277,500,000	355,781,772
0	5,372,453,000	3,744,171,249	1,277,500,000	0	1,277,500,000	350,781,751
0	6,594,983,000	6,594,982,979	0	0	0	21
0	5,000,000	0	0	0	0	5,000,000

179,916,944円、減債積立金取崩し額 1,465,682,946円、過年度分損益勘定留保資金 8,165,148円、当年度分損益勘定留保

(2) 比較損益計算書

区 分	2017年度		2018年度		2019年度		対 前 年 度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
	円	%	円	%	円	%	円	%
事業収益	11,885,231,128	100.0	11,885,547,346	100.0	11,697,099,540	100.0	△ 188,447,806	98.4
営業収益	7,444,339,753	62.6	7,477,296,585	62.9	7,532,105,172	64.4	54,808,587	100.7
下水道使用料	5,988,772,753	50.4	6,034,941,585	50.8	5,991,001,172	51.2	△ 43,940,413	99.3
他会計負担金	1,455,237,000	12.2	1,440,715,000	12.1	1,540,309,000	13.2	99,594,000	106.9
その他営業収益	330,000	0.0	1,640,000	0.0	795,000	0.0	△ 845,000	48.5
営業外収益	4,369,965,384	36.8	4,316,054,445	36.3	4,164,994,368	35.6	△ 151,060,077	96.5
受取利息	542,551	0.0	201,266	0.0	943,107	0.0	741,841	468.6
国庫負担金	-	-	850,000	0.0	-	-	△ 850,000	皆減
他会計負担金	2,116,502,000	17.8	2,061,802,303	17.3	1,999,706,000	17.1	△ 62,096,303	97.0
長期前受金戻入	2,219,443,964	18.7	2,211,593,794	18.6	2,154,395,606	18.4	△ 57,198,188	97.4
雑収益	33,476,869	0.3	41,607,082	0.4	9,949,655	0.1	△ 31,657,427	23.9
特別利益	70,925,991	0.6	92,196,316	0.8	-	-	△ 92,196,316	皆減
固定資産売却益	23,312,832	0.2	-	-	-	-	-	-
その他特別利益	47,613,159	0.4	92,196,316	0.8	-	-	△ 92,196,316	皆減
事業費用	10,216,577,095	100.0	10,419,864,400	100.0	10,139,323,347	100.0	△ 280,541,053	97.3
営業費用	8,227,672,671	80.5	8,379,998,942	80.4	8,497,805,255	83.8	117,806,313	101.4
管渠費	232,629,535	2.3	220,436,984	2.1	283,960,140	2.8	63,523,156	128.8
ポンプ場費	333,117,362	3.3	349,755,696	3.4	379,901,409	3.7	30,145,713	108.6
処理場費	219,747,836	2.2	234,560,871	2.2	239,898,018	2.4	5,337,147	102.3
排水設備費	65,597,582	0.6	54,632,512	0.5	54,026,273	0.5	△ 606,239	98.9
流域下水道費	1,332,014,006	13.0	1,353,519,642	13.0	1,398,752,415	13.8	45,232,773	103.3
業務費	218,553,939	2.1	198,114,035	1.9	208,085,704	2.1	9,971,669	105.0
総係費	221,891,464	2.2	299,490,652	2.9	234,961,690	2.3	△ 64,528,962	78.5
減価償却費	5,583,262,015	54.6	5,613,340,586	53.9	5,597,421,436	55.2	△ 15,919,150	99.7
資産減耗費	20,858,932	0.2	56,147,964	0.5	100,798,170	1.0	44,650,206	179.5
営業外費用	1,806,206,079	17.7	1,674,169,838	16.1	1,539,935,701	15.2	△ 134,234,137	92.0
支払利息及び 企業債取扱諸費	1,775,541,871	17.4	1,636,933,585	15.7	1,495,548,328	14.8	△ 141,385,257	91.4
雑支出	30,664,208	0.3	37,236,253	0.4	44,387,373	0.4	7,151,120	119.2
特別損失	182,698,345	1.8	365,695,620	3.5	101,582,391	1.0	△ 264,113,229	27.8
資産減耗費	50,194,000	0.5	361,202,624	3.5	-	-	△ 361,202,624	皆減
固定資産譲渡損	-	-	-	-	9,017,217	0.1	9,017,217	皆増
過年度損益修正損	1,171,709	0.0	2,636,996	0.0	1,489,672	0.0	△ 1,147,324	56.5
その他特別損失	131,332,636	1.3	1,856,000	0.0	91,075,502	0.9	89,219,502	4,907.1
当年度純利益	1,668,654,033	-	1,465,682,946	-	1,557,776,193	-	92,093,247	-

(3) 比較貸借対照表

区 分	2017年度		2018年度		2019年度		対 前 年 度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
固 定 資 産	円	%	円	%	円	%	円	%
	172,516,881,387	98.4	169,529,569,268	98.3	167,926,285,735	98.0	△ 1,603,283,533	99.1
有 形 固 定 資 産	164,988,353,578	94.1	162,074,779,520	94.0	160,837,655,695	93.9	△ 1,237,123,825	99.2
土 地	4,123,956,330	2.4	3,762,753,706	2.2	3,761,040,811	2.2	△ 1,712,895	100.0
建 物	2,309,971,283	1.3	2,284,605,318	1.3	2,181,055,388	1.3	△ 103,549,930	95.5
構 築 物	150,616,682,752	85.9	148,284,804,543	86.0	147,006,000,455	85.8	△ 1,278,804,088	99.1
機 械 及 び 装 置	6,321,025,966	3.6	5,799,971,232	3.4	6,764,188,155	4.0	964,216,923	116.6
車 両 運 搬 具	1,854,132	0.0	2,438,027	0.0	3,585,333	0.0	1,147,306	147.1
工 具 器 具 及 び 備 品	77,130,793	0.0	74,908,096	0.0	65,622,228	0.0	△ 9,285,868	87.6
建 設 仮 勘 定	1,537,732,322	0.9	1,865,298,598	1.1	1,056,163,325	0.6	△ 809,135,273	56.6
無 形 固 定 資 産	7,515,892,809	4.3	7,442,154,748	4.3	7,075,995,040	4.1	△ 366,159,708	95.1
投 資 そ の 他 の 資 産	12,635,000	0.0	12,635,000	0.0	12,635,000	0.0	-	100.0
流 動 資 産	2,756,360,221	1.6	2,947,850,787	1.7	3,475,984,161	2.0	528,133,374	117.9
現 金 及 び 預 金	2,392,846,619	1.4	2,518,097,794	1.4	3,193,787,514	1.9	675,689,720	126.8
未 収 金	393,576,048	0.2	454,046,149	0.3	394,914,810	0.2	△ 59,131,339	87.0
貸 倒 引 当 金	△ 30,148,446	0.0	△ 24,379,156	0.0	△ 112,807,163	△ 0.1	△ 88,428,007	462.7
そ の 他 流 動 資 産	86,000	-	86,000	0.0	89,000	0.0	3,000	103.5
資 産 合 計	175,273,241,608	100.0	172,477,420,055	100.0	171,402,269,896	100.0	△ 1,075,150,159	99.4

固 定 負 債	84,519,781,777	48.2	80,684,576,533	46.8	77,281,357,558	45.1	△ 3,403,218,975	95.8
企 業 債	84,377,856,046	48.1	80,517,073,067	46.7	77,086,067,140	45.0	△ 3,431,005,927	95.7
引 当 金	141,925,731	0.1	167,503,466	0.1	195,290,418	0.1	27,786,952	116.6
退 職 給 付 引 当 金	141,925,731	0.1	167,503,466	0.1	195,290,418	0.1	27,786,952	116.6
流 動 負 債	8,143,767,001	4.7	8,068,985,672	4.6	8,531,539,426	5.0	462,553,754	105.7
企 業 債	6,616,081,054	3.8	6,594,982,979	3.8	6,532,505,927	3.8	△ 62,477,052	99.1
未 払 金	1,478,543,476	0.9	1,432,893,711	0.8	1,941,416,129	1.2	508,522,418	135.5
前 受 金	6,658	0.0	-	-	-	-	-	-
引 当 金	33,340,461	0.0	33,449,521	0.0	34,540,931	0.0	1,091,410	103.3
そ の 他 流 動 負 債	15,795,352	0.0	7,659,461	0.0	23,076,439	0.0	15,416,978	301.3
繰 延 収 益	66,852,486,640	38.1	65,855,985,816	38.2	65,541,411,363	38.2	△ 314,574,453	99.5
長 期 前 受 金	66,852,486,640	38.1	65,855,985,816	38.2	65,541,411,363	38.2	△ 314,574,453	99.5
負 債 合 計	159,516,035,418	91.0	154,609,548,021	89.6	151,354,308,347	88.3	△ 3,255,239,674	97.9

資 本 金	11,567,985,672	6.6	13,711,140,101	8.0	15,990,938,591	9.3	2,279,798,490	116.6
資 本 金	11,567,985,672	6.6	13,711,140,101	8.0	15,990,938,591	9.3	2,279,798,490	116.6
剰 余 金	4,189,220,518	2.4	4,156,731,933	2.4	4,057,022,958	2.4	△ 99,708,975	97.6
資 本 剰 余 金	983,139,012	0.6	1,022,394,954	0.6	1,033,563,819	0.6	11,168,865	101.1
利 益 剰 余 金	3,206,081,506	1.8	3,134,336,979	1.8	3,023,459,139	1.8	△ 110,877,840	96.5
資 本 合 計	15,757,206,190	9.0	17,867,872,034	10.4	20,047,961,549	11.7	2,180,089,515	112.2
負 債 資 本 合 計	175,273,241,608	100.0	172,477,420,055	100.0	171,402,269,896	100.0	△ 1,075,150,159	99.4

有 形 固 定 資 産 減 価 償 却 累 計	30,288,974,854	-	35,393,996,410	-	40,451,212,516	-	5,057,216,106	-
-------------------------	----------------	---	----------------	---	-----------------------	---	---------------	---

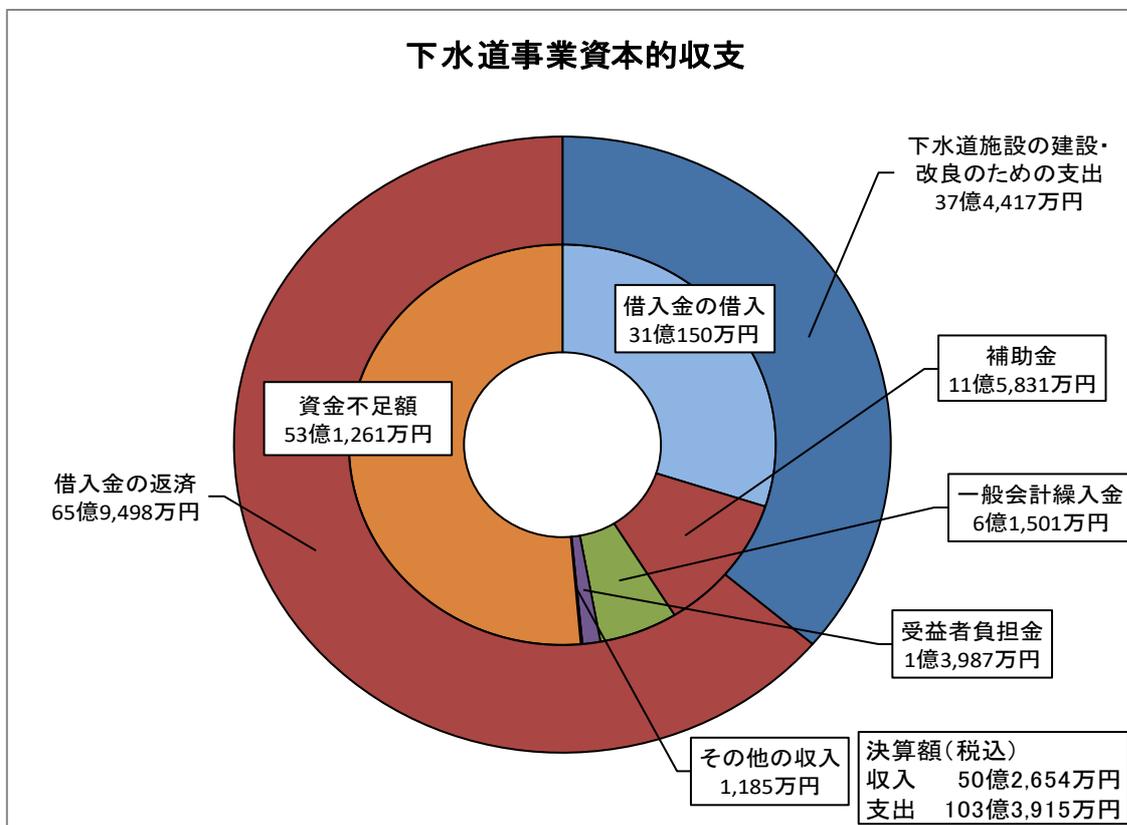
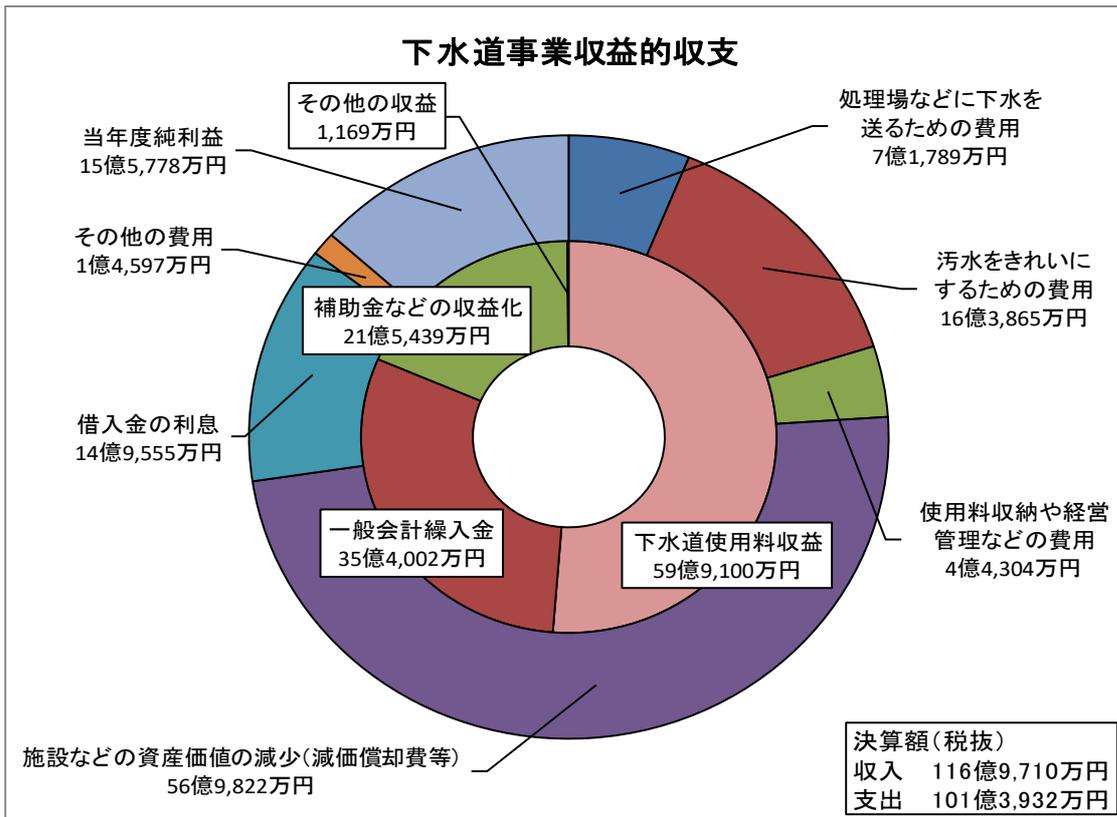
(4) 比較費用構成表

区 分	2017年度		2018年度		2019年度		対前年度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
職員給与費	千円 399,009	% 3.9	千円 399,203	% 3.8	千円 402,194	% 4.0	千円 2,991	% 100.7
給 料	180,585	1.8	185,480	1.8	186,463	1.8	983	100.5
手当等	85,790	0.8	86,671	0.8	85,563	0.9	△ 1,108	98.7
賞与引当金 繰入額	16,008	0.2	15,353	0.1	16,626	0.2	1,273	108.3
報 酬	20,086	0.2	17,934	0.2	18,158	0.2	224	101.2
法定福利費	59,519	0.6	61,333	0.6	60,471	0.6	△ 862	98.6
法定福利費 引当金繰入額	2,931	0.0	2,855	0.0	3,141	0.0	286	110.0
退職給付費	34,090	0.3	29,577	0.3	31,772	0.3	2,195	107.4
動力費	84,316	0.8	97,935	0.9	44,175	0.4	△ 53,760	45.1
委託料	476,946	4.7	578,478	5.6	679,773	6.7	101,295	117.5
修繕費	206,393	2.0	99,398	1.0	141,425	1.4	42,027	142.3
薬品費	1,261	0.0	862	0.0	1,021	0.0	159	118.4
流域下水道 負担金	1,332,014	13.0	1,353,520	13.0	1,398,752	13.8	45,232	103.3
減価償却費	5,583,262	54.7	5,613,340	53.9	5,597,422	55.2	△ 15,918	99.7
支払利息	1,775,542	17.4	1,636,934	15.7	1,495,548	14.8	△ 141,386	91.4
その他経常費用	175,136	1.7	274,499	2.6	277,431	2.7	2,932	101.1
特別損失	182,698	1.8	365,695	3.5	101,582	1.0	△ 264,113	27.8
合 計	10,216,577	100.0	10,419,864	100.0	10,139,323	100.0	△ 280,541	97.3

(5) 汚水処理原価

区 分	2017年度		2018年度		2019年度		対前年度	
	金 額	1m ³ 当り	金 額	1m ³ 当り	金 額	1m ³ 当り	金 額	1m ³ 当り
職員給与費	千円 230,863	円/m ³ 6.51	千円 259,120	円/m ³ 7.27	千円 223,148	円/m ³ 6.26	千円 △ 35,972	円/m ³ △ 1.01
動力費	24,013	0.68	26,867	0.75	823	0.02	△ 26,044	△ 0.73
委託料	354,412	9.99	386,118	10.84	445,382	12.50	59,264	1.66
修繕費	84,559	2.38	38,784	1.09	38,562	1.08	△ 222	△ 0.01
流域下水道 負担金	1,266,339	35.70	1,300,201	36.49	1,349,277	37.87	49,076	1.38
減価償却費	2,083,003	58.72	2,092,500	58.73	2,091,801	58.72	△ 699	△ 0.01
支払利息	762,991	21.51	702,016	19.70	639,706	17.96	△ 62,310	△ 1.74
そ の 他	112,721	3.17	171,348	4.81	117,105	3.29	△ 54,243	△ 1.52
合 計	4,918,901	138.66	4,976,954	139.68	4,905,804	137.70	△ 71,150	△ 1.98
年間有収水量	35,475,356 m ³		35,632,028 m ³		35,625,984 m³		△ 6,044m ³	
							-	

(6) 決算収支図



(7) 経営指標

項 目		単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
施設	負 荷 率	%	78.2	75.0	70.5	63.4	71.1
	施 設 利 用 率	%	62.9	63.3	63.7	63.1	60.1
	最 大 稼 働 率	%	80.4	84.4	90.3	99.7	84.5
	有 収 率	%	84.78	86.00	85.56	85.99	90.51
	有形固定資産減価償却率	%	11.12	13.69	15.97	18.45	20.59
	管 渠 改 善 率	%	0.05	0.01	0.16	0.05	0.02
生産性	職 員 1 人 当 たり 処 理 区 域 内 人 口	人	7,775	7,644	7,248	7,280	7,390
	職員 1 人 当 たり 処 理 水 量	m ³	961,585	942,196	882,151	881,684	837,485
健全性	固 定 資 産 構 成 比 率	%	98.7	98.6	98.4	98.3	98.0
	自 己 資 本 構 成 比 率	%	44.4	45.7	47.1	48.5	49.9
	固 定 負 債 構 成 比 率	%	51.2	49.8	48.2	46.8	45.1
	経 常 収 支 比 率	%	115.4	118.6	117.7	117.3	116.5
	累 積 欠 損 金 比 率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流 動 比 率	%	30.9	31.6	33.8	36.5	40.7
	固 定 資 産 回 転 率	回	0.04	0.05	0.04	0.04	0.05
	企 業 債 残 高 対 比 率 企 業 規 模	%	1,554.8	1,446.6	1,397.7	1,332.4	1,294.2
	処 理 区 域 内 人 口 1 人 当 たり 企 業 債 現 在 高	万円	29.2	28.1	26.7	25.5	24.1
使用料	使 用 料 単 価	円/m ³	163.05	167.27	168.68	169.22	168.03
	汚 水 処 理 原 価	円/m ³	150.30	142.98	138.66	139.68	137.70
	経 費 回 収 率	%	108.5	117.0	121.7	121.2	122.0

※ 金額は税抜である。

算 出 基 礎		説 明
$\frac{104,965}{147,603}$ $\frac{m^3}{m^3}$	$\frac{\text{日平均処理水量(晴天時)}}{\text{日最大処理水量(晴天時)}}$	1日最大処理水量(晴天時)に対する1日平均処理水量(晴天時)の割合を示すもので、下水道施設の効率性を表す指標。
$\frac{104,965}{174,722}$ $\frac{m^3}{m^3}$	$\frac{\text{日平均処理水量(晴天時)}}{\text{処理能力(晴天時)}}$	現在処理能力(晴天時)に対する1日平均処理水量(晴天時)の割合を示すもので、下水道施設の利用状況や適正規模を判断する指標。
$\frac{147,603}{174,722}$ $\frac{m^3}{m^3}$	$\frac{\text{日最大処理水量(晴天時)}}{\text{処理能力(晴天時)}}$	施設の処理能力に対する1日最大処理水量(晴天時)の割合を示すもので、下水道施設の効率性を表す指標。
$\frac{35,625,984}{39,361,810}$ $\frac{m^3}{m^3}$	$\frac{\text{有収水量}}{\text{汚水処理水量}}$	処理した汚水のうち使用料徴収の対象となる有収水量の割合を示すもので、有収率が高いほど使用料徴収の対象とできない不明水が少なく、効率的であるということを表す指標。
$\frac{40,451,212}{196,471,664}$ 千円 / 千円	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}}$	資産の老朽化度合を示すもので、有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標。
$\frac{0.36}{1,876}$ k m / k m	改善(更新・改良・維持)管渠延長 / 下水道布設延長	総延長のうち、当該年度に修繕・改良・更新を行った管渠の割合を示すもので、管渠の改善状況を表す指標。
$\frac{347,322}{47}$ 人 / 人	現在処理区域内人口 / 損益勘定所属職員数	損益勘定職員1人当たりの処理区域内人口を示すもので、下水道サービスの生産性を表す指標。
$\frac{39,361,810}{47}$ $\frac{m^3}{人}$	汚水処理水量 / 損益勘定所属職員数	損益勘定職員1人当たりの汚水処理水量を示すもので、下水道サービスの生産性を表す指標。
$\frac{167,926,286}{171,402,270}$ 千円 / 千円	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産+流動資産+繰延資産}}$	総資産(固定資産・流動資産・繰延資産)に占める固定資産の割合を示すもので、経営の柔軟性を表す指標。
$\frac{85,589,373}{171,402,270}$ 千円 / 千円	$\frac{\text{資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益}}{\text{負債資本合計}}$	総資本(負債・資本)に占める自己資本の割合を示すもので、財務の健全性を表す指標。
$\frac{77,281,358}{171,402,270}$ 千円 / 千円	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債資本合計}}$	総資本(負債・資本)に占める固定負債の割合を示すもので、財務の健全性を表す指標。
$\frac{11,697,099}{10,037,741}$ 千円 / 千円	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}}$	経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すもので、事業の収益性を表す指標。
$\frac{0}{7,532,105}$ 千円 / 千円	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益-受託工事収益}}$	営業収益に対する累積欠損金(営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した損失のこと)の状況を表す指標。
$\frac{3,475,984}{8,531,539}$ 千円 / 千円	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	流動負債に対する流動資産の割合を示すもので、短期的な債務に対する支払能力を表す指標。
$\frac{7,532,105}{166,877,637}$ 千円 / 千円	$\frac{\text{営業収益-受託工事収益}}{\text{期末期首(固定資産-建設仮勘定)÷2}}$	固定資産に対する営業収益の割合を示すもので、固定資産がどの程度経営活動に利用されているかを表す指標。
$\frac{77,544,892}{5,991,796}$ 千円 / 千円	$\frac{\text{企業債残高-一般会計負担金}}{\text{営業収益-受託工事収益-雨水処理負担金}}$	使用料収入に対する企業債残高の割合を示すもので、企業債残高の規模を表す指標。
$\frac{83,618,573}{347,322}$ 千円 / 人	$\frac{\text{企業債残高}}{\text{処理区域内人口}}$	処理区域内人口1人当たりの企業債現在高を示すもので、過度の負担を将来に先送りしてないかを分析する指標。
$\frac{5,986,393}{35,625,984}$ 千円 / $\frac{m^3}{m^3}$	$\frac{\text{使用料収入}}{\text{有収水量}}$	有収水量1 m^3 当たりについて、どれだけ下水道使用料を得ているかを表す指標。
$\frac{4,905,804}{35,625,984}$ 千円 / $\frac{m^3}{m^3}$	$\frac{\text{汚水処理費}}{\text{有収水量}}$	有収水量1 m^3 当たりについて、どれだけ汚水処理費用がかかっているかを表す指標。
$\frac{168.03}{137.70}$ 円 / 円	$\frac{\text{使用料単価}}{\text{汚水処理原価}}$	使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表すもので、使用料水準等が適正かを評価する指標。